

令和 3 (2021) 年度

# 年間指導計画

～ 指導と評価の計画～



神奈川県立横浜平沼高等学校全日制普通科

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野1丁目5番8号

TEL 045-313-9200 (代表) FAX 045-311-0519

# 目次

- 1 各教科の「評価の観点」一覧 . . . . P. 1
- 2 教育課程表 . . . . P. 2
- 3 各学年の科目のページ

第1学年の科目	P.	第2学年の科目	P.	第3学年の科目	P.
①国語		①国語		①国語	
国語総合	3	現代文B	2 5	現代文B	5 0
②地理歴史・公民		古典A	2 6	総合古典	5 1
世界史B	5	古典B	2 7	現代文研究	5 2
③数学		②地理歴史・公民		古典研究	5 3
数学I	6	日本史A	2 8	②地理歴史・公民	
数学A	7	日本史B	2 9	世界史研究	5 4
④理科		③数学		日本史研究	5 5
化学基礎	8	数学Ⅱ(α型)	3 0	地理B	5 6
生物基礎	9	数学Ⅱ(β型)	3 1	※世界近現代史特論	
⑤保健体育		数学B	3 2	※日本近現代史特論	
体育	1 0	④理科		現代社会	5 7
保健	1 1	物理基礎	3 3	政治・経済	5 8
⑥芸術		化学	3 4	③数学	
音楽I	1 2	⑤保健体育		数学Ⅲ	5 9
美術I	1 3	体育	3 5	一般数学	6 0
書道I	1 4	保健	3 6	応用数学	6 1
⑦外国語(英語)		⑥芸術		実践数学I・A	6 2
コミュニケーション英語I	1 5	音楽Ⅱ	3 7	④理科	
英語表現I	2 0	美術Ⅱ	3 8	物理	6 3
⑧総合的な探究の時間	2 4	書道Ⅱ	3 9	生物	6 4
		⑦外国語(英語)		応用化学	6 5
		コミュニケーション英語Ⅱ	4 0	生物研究	6 6
		英語表現Ⅱ	4 5	⑤保健体育	
		⑧家庭		体育	6 7
		家庭基礎	4 8	⑥外国語(英語)	
		⑨総合的な探究の時間	4 9	コミュニケーション英語Ⅲ	6 8
				英語表現Ⅱ	7 3
				リーディング・スキルズ	8 0
				⑦情報	
				社会と情報	9 0
				⑧音楽(専)	
				ソルフェージュ音楽理論	9 1
				⑨美術(専)	
				美術概論	9 2
				素描	9 3
				⑩家庭(専)	
				フードデザイン	9 4
				⑩総合的な学習の時間	9 5
				※世界史近現代特論、日本近現代史特論は117期生以降、開講されません。	

# 1 各教科の「評価の観点」一覧

<p><b>国語</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 話す・聞く能力</p> <p>c : 書く能力</p> <p>d : 読む能力</p> <p>e : 知識・理解</p>	<p><b>地理歴史・公民</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 資料活用の技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>数学</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 数学的な見方や考え方</p> <p>c : 数学的な技能</p> <p>d : 知識・理解</p>
<p><b>理科</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 観察・実験の技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>保健体育</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断</p> <p>c : 運動の技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>芸術（音楽）</b></p> <p>a : 音楽への関心・意欲・態度</p> <p>b : 音楽表現の創意工夫</p> <p>c : 音楽表現の技能</p> <p>d : 鑑賞の能力</p>
<p><b>芸術（美術）</b></p> <p>a : 美術への関心・意欲・態度</p> <p>b : 発想や構想の能力</p> <p>c : 創造的な技能</p> <p>d : 鑑賞の能力</p>	<p><b>芸術（書道）</b></p> <p>a : 書への関心・意欲・態度</p> <p>b : 書表現の構想と工夫</p> <p>c : 創造的な書表現の技能</p> <p>d : 鑑賞の能力</p>	<p><b>外国語（英語）</b></p> <p>a : コミュニケーションへの関心・意欲・態度</p> <p>b : 外国語表現の能力</p> <p>c : 外国語理解の能力</p> <p>d : 言語や文化についての知識・理解</p>
<p><b>家庭</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>情報</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>総合的な学習の時間</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 技能</p> <p>d : 知識・理解</p> <p><b>総合的な探究の時間</b></p> <p>a : 知識・技能</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 主体的に取り組む態度</p>

◎各科目の「評価の方法」の詳しい内容や重み付けについては、授業の中で各担当者が説明します。

◎各科目の「評価の観点」は、必ずしも上記のものとは限りません。

(2) 令和3(2021)年度入学生教育課程表

※選択科目については変更になる場合があります。

教科	科目	標準単位数	1年次	α型(文系)			β型(理系)		
				2年次	3年次		2年次	3年次	
					必修	選択		必修	選択
国語	国語総合	4	4						
	国語表現	3				②			②
	現代文B	4		2	2		2	2	
	古典A	2					2		
	古典B	4		4					
	総合古典	※							③
地理歴史	現代文研究	※				②			②
	古典研究	※				②			②
	世界史B	4	4						
	日本史A	2					2		
	日本史B	4		4					
	地理B	4							③
公民	世界史研究	※				④			④
	日本史研究	※				④			④
	現代社会	2			2			2	
	倫理	2							③
	政治	2							③
	経済	2							③
数学	数学I	3	3						
	数学II	4		3			4		
	数学III	5				⑤			⑤
	数学A	2	2						
	数学B	2		②		②	2		
	一般数学	※				③			③
	応用数学	※				③			③
	実践数学I・A	※				②			②
理科	物理基礎	2		2			2		
	物理	4				④			④
	化学基礎	2	2					3	
	化学	4							
	生物基礎	2	2						
	生物	4				④			④
	物理研究	※				②			②
	化学研究	※				③			③
保健体育	化学研究	※				②			②
	生物研究	※				②			②
	体育	7~8	3	2	2		2	2	
芸術	保健	2	1	1			1		
	音楽I	2	②						
	音楽II	2	②	②					
	美術I	2	②	②					
	美術II	2	②	②					
	書道	2	②	②					②
外国語	書道II	2							
	書道III	2				②			②
	コミュニケーション英語I	3	3						
	コミュニケーション英語II	4		4			4		
	コミュニケーション英語III	4			3			3	
	英語表現I	2	2						
家庭情報	英語表現II	4		2	2		2	2	
	実用英語	※				②			②
	リーディングスキルズ	※				②			②
	家庭基礎	2		2			2		
	社会と情報	2			2			2	
	服飾文化	2~4							②
	フードデザイン	2~6							②
	スポーツII	2~13							②
	音楽理論	2~6							②
	音楽ソルフェージュ	2~9							④
美術	美術概論	2~4							③
	素描	2~6							③
	*学校外活動	※	①	①		①	①		①
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1		1	1	
計			29	29	14	6~14	29	14	6~14
ホームルーム活動			1	1	1		1	1	
総計			30	30	21~29		30	21~29	
備考			]は選択肢を示す。○印の数字は選択科目の単位数を示す。*印は学校設定教科・学校設定科目を示す。ボランティア活動は3年間を通じて1単位まで認定する。ただし卒業単位に含めない。1コマの授業時間は55分。						

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・現代文B	学年	第3学年	教科書	大修館書店『精選現代文B新訂版』
		単位数	2単位	副教材	第一学習社『新版四訂カラー版新国語便覧』 第一学習社『意味から学ぶ頻出漢字3000』

**学習目標**  
近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深めることを目標とする。

**学習方法**  
○授業で扱う各教材について自ら考え、また周りの生徒とともに作品を深く読解する活動を行います。  
○「便覧」を活用し、文学史などの知識を深めます。  
○小テスト・課題レポートなど、日々の取り組みを評価します。しっかりと努力しましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	
b	話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取る技能を身に付けている。		
c	書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書くことができる。		
d	読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を読み取ったり読書に親しむ態度を身に付けている。		
e	知識・理解	表現と理解に役立つための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
前期	・読むこと ・聞くこと ・書くこと ・話すこと	6	近現代の文章	評論1	○	○			○	a文章の論理展開を的確に把握し、筆者の主張を理解している。 b内容について自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させることができる。 c与えられた課題に即して思考を深めスピーチや作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 d古典的な名作を読み文学の面白さを味わうことができる。 e登場人物の心情を的確にとらえ、時代と人間の関係について考えを深めることができる。 f筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について認識を深めることができる。また、進んで評論を読む態度を身に付けている。	授業への取り組み・定期試験・小テスト等
		8		小説1	○	○		○			
		6		評論2	○		○		○		
		8		小説2	○		○	○			
		4		表現	○	○	○				
後期	・読むこと ・聞くこと ・書くこと ・話すこと	7	近現代の文章	評論3	○		○	○	○	a文章の論理展開を的確に把握し、筆者の主張を理解している。 b与えられた課題に即して考察を深めスピーチや作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 c内容について自分なりの意見を持ち、社会的な問題に対し広く目を向けていくことができる。 d筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について深い考察をめぐらすことができる。また、近代の文学作品を主体的に読解し、より深く鑑賞する力と知識を身に付けている。 e完成度の高い文章の論理展開を的確に把握し理解している。	授業への取り組み・定期試験・小テスト等
		7		小説3		○	○	○			
		7		評論4	○	○	○		○		
		7		評論5	○		○	○	○		
		4		表現	○	○	○				
合計時数(55分授業)		64									

令和2年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・総合古典	学年	第3学年	教科書	大修館書店「精選古典B 改訂版」
		単位数	3単位	副教材	東京書籍「新精選古典文法改訂版」 第一学習社「新版四訂カラー版新国語便覧」 いっぴずな書店「古文単語330三訂版」

学習目標	<p>○これまで学習し身につけた古典を読む力をつけて、より長く難しい文章や文学に向き合い、知識の獲得や、文法の深い理解、それによる読む力の習熟を図る。</p> <p>○作品や文化へのより深い理解を身につける。</p> <p>○古典文学に親しみ、楽しみ、現代に古典を読む意義や目的を自分なりに見出す。</p>
------	---

学習方法	<p>○音読は、言語の音律を身に染みこませ、文章への理解を深めるものです。自ら積極的に取り組みましょう。</p> <p>○読み書き・語彙の知識は、すべての学習において理解の基礎になるものです。自ら積極的に取り組みましょう。</p> <p>○文法や文構造は客観的で正確な読解に必要不可欠です。必ず予習をおこない、授業を通して自分の読解の正確性を確かめ、読む力を培いましょう。</p> <p>○時代背景や文学史は、文章を理解する一助になります。便覧や読書を通じて幅広く知識を身につけましょう。</p>
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	
	d	読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察するなどして、自分の考えを深め、発展させている。	
	e	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについて理解を深め、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	d	e		
前期	古文	15	説話 随筆 日記 物語	古今著聞集 今昔物語集 枕草子 大和物語 など	○	○	○	<p>a 予習や音読、語彙獲得に積極的に努めるなど、意欲的に学習し、文学に関心を持ち、読む力を培おうとしている。</p> <p>d 文法や文章構造を踏まえた客観的な読解の力を身に付けている。</p> <p>e 読解に必要な最低限の文法事項を身につけている。</p> <p>e 文章を読む上で必要な時代背景や文学史について十分な知識を身につけている。</p>	<p>取り組み、定期テスト、単語テスト、提出物など</p>
	漢文	20	漢詩 逸話	李白・杜甫 白居易 世説新語 韓非子 など	○	○	○		
	古文	13	物語	大鏡 源氏物語 など	○	○	○		
後期	漢文	20	史伝 思想	史記 韓非子 など	○	○	○		
	古文	20	物語 評論	源氏物語 風姿花伝 玉勝間 など	○	○	○		
	古文	8	近世文学	雨月物語 など	○	○	○		
合計時間(55分授業)		96							

# 令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・現代文研究	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	いっずな書店「プロGRESS 現代文総演習 完成編」

**学習目標**  
教科書収録外のような優れた文章や作品に接し、読解することで、見識・感性・思考力を深める。また作品に現れた思想や感情を味わい、進んで表現し読書する態度を育てることを目標とする。

**学習方法**  
問題演習を通して、読解力を高めるとともに、見識・感性・思考力・表現力を深めます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
c	書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め発展させている。	
d	読む能力	近代以降の文章を的確に読みとったり、目的に応じて幅広く読みだりして、自分の考えを深め、発展させている。	
e	知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	c	d	e			
前期	読むこと・書くこと	32	読解の基本 読解と要約	哲学	○	○	○	○	a文学の面白さを味わうことができる。	授業への取り組み・定期試験・小テスト等	
				国際理解	○	○	○	○	a内容について自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させることができる。		
				小説	○	○	○	○	c与えられた課題に即して思考を深め作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。		
				文化	○	○	○	○	d筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について認識を深めることができる。また、進んで評論を読む態度を身に付けている。		
				芸術	○	○	○	○	d登場人物の心情を的確にとらえ、時代と人間の関係について考えを深めることができる。		
				倫理	○	○	○	○	d文章の論理展開を的確に把握し、筆者の主張を理解している。		
				社会学	○	○	○	○			
				科学	○	○	○	○			
後期	読むこと・書くこと	32	読解の内容把握 読解と思考力	哲学	○	○	○	○	a文学の面白さを味わうことができる。	授業への取り組み・定期試験・小テスト等	
				国際理解	○	○	○	○	a内容について自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させることができる。		
				小説	○	○	○	○	c与えられた課題に即して思考を深め作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。		
				文化	○	○	○	○	d筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について認識を深めることができる。また、進んで評論を読む態度を身に付けている。		
				芸術	○	○	○	○	d登場人物の心情を的確にとらえ、時代と人間の関係について考えを深めることができる。		
				倫理	○	○	○	○	d文章の論理展開を的確に把握し、筆者の主張を理解している。		
				社会学	○	○	○	○			
				科学	○	○	○	○			
合計時数(55分授業)		64									

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・古典研究	学年	第3学年	教科書	第一学習社「国語力を高める 教養講座古文30選」 第一学習社「実践型問題集 スタディアーク 古典(step3)」 第一学習社「新版四訂カラー版新国語便覧」 東京書籍「新精選 古典文法 改訂版」 いっずな書店「古文単語330三訂版」
		単位数	2単位	副教材	

**学習目標**  
 ○これまで学習し身につけた古典を読む力をつかって、問題演習に取り組み、知識の獲得や文法の深い理解、それによる読む力の習熟を図る。  
 ○古典文学に親しみ、楽しみ、現代に古典を読む意義や目的を自分なりに見出す。

**学習方法**  
 ○音読は、言語の音律を身に染みこませ、文章への理解を深めるものです。自ら積極的に取り組みましょう。  
 ○読み書き・語彙の知識は、すべての学習において理解の基礎になるものです。自ら積極的に取り組みましょう。  
 ○文法や文構造は客観的で正確な読解に必要不可欠です。必ず予習をおこない、授業を通して自分の読解の正確性を確かめ、読む力を培いましょう。  
 ○時代背景や文学史は、文章を理解する一助になります。便覧や読書を通じて幅広く知識を身につけましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して進んで古典に親しもうとする態度を身に付けている。	
d	読む能力	古典に現れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする能力を身に付けている。		
e	知識・理解	古典の理解に役に立てるための音声、文法、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	d	e		
前期	古文	10	万葉集 古今和歌集 伊勢物語 枕草子 など	品詞分解 活用の種類 助動詞 和歌の修辞	○	○	○	a 予習や音読、語彙獲得に積極的に努めるなど、意欲的に学習し、文学に関心を持ち、読む力を培おうとしている。  d 文法や文章構造を踏まえた客観的な読解の力が身に付いている。  e 読解に必要な最低限の文法事項を身につけている。  e 文章を読む上で必要な時代背景や文学史について十分な知識を身につけている。  取り組み、定期テスト、単語テスト、提出物 など	
	漢文	10	莊子 龍川略志 呂氏春秋 など	漢文の読み方 助字 再読文字 句形	○	○	○		
	古文	10	源氏物語 栄花物語 大鏡 松浦宮物語 など	敬語 識別 接続助詞	○	○	○		
後期	漢文	10	荀子 幽明録 尚綱齋集 など	句形	○	○	○		
	古文	10	平治物語 癸心集 たまきはる 太平記 など	識別	○	○	○		
	古文	14	歌論書 注釈書	まとめ	○	○	○		
合計時数(55分授業)		64							



令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史研究	学年	第3学年	教科書	
		単位数	4単位	副教材	山川出版社「流れ図で攻略 詳説世界史B」 実教出版「テーマ別学習世界史 文化史編」

学習目標	「世界史B」を発展学習することにより、主として中世以降の歴史の大きな枠組みと展開を諸史料に基づき理解することができる。さらに地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解することができる。				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予習・復習を前提とし、授業においては単なる事実の羅列でなく歴史的意義の理解を行います。</li> <li>○ 授業における課題に対して自ら考え、また、資料を活用することでデータを読み取って考察する活動を行います。</li> <li>○ 家庭学習においては「新詳 世界史Bノート」などを使用し基本知識の定着を進めます。</li> </ul>				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を備えている。		
	b	思考・判断・表現	世界の文化の多様性と現代世界の特徴を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断するとともに、考察した過程や結果を適切に表現することができる。		
	c	資料活用の技能	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめるなど活用することができる。		
	d	知識・理解	世界の歴史についての基本的な事象を、地理的条件や我が国の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	古代～近代のアジア	13	東アジア世界と中央ユーラシア世界	秦～宋の世界	○	○	○	a:東アジア世界における多様な古代文明の発生と、その中で日本の位置づけに関心がもてる。 b:遊牧民の活動と中華王朝の変遷が深く関連していることを理解し、考察できている。 c:地図を用いて、モンゴルの活動によってユーラシア大陸の大陸交易と海上交易が一体化したことを指摘できる。 d:モンゴルによりユーラシア大陸が一体化したことで、ユーラシア規模で人の交流やものの流通が起こったこと、および14世紀の危機を理解している。	「学習態度」(授業への取り組み、発言内容、プリントへの取り組み)、「定期試験」、「課題レポート」等をふまえて、総合的に評価する。	
				遊牧国家	○	○	○			
		13	モンゴル帝国の出現とアジア諸地域の繁栄	モンゴル帝国	○	○	○			
				オスマン帝国・ムガル帝国・明朝・清朝	○	○	○			
	13	近代ヨーロッパの成立・ヨーロッパ主権国家体制の展開	大航海時代	○	○	a:16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、アメリカ・アフリカとの関係に関心を高めている。 b:ヨーロッパとアメリカの諸革命について多面的に考察し、その過程や結果を表現できる。 c:18世紀頃のヨーロッパとアメリカ社会の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択できる。 d:独立後のアメリカでは、フロンティアの存在と西進運動がアメリカ人独特のものと考えや行動様式を育むうえで重要な役割を果たしたことを理解し、その知識を身に付けている。				
			絶対王政と啓蒙思想	○	○					
13	欧米における近代社会の成長・近代国民国家の発展	産業革命と各国の独立革命	○	○						
		ナポレオン、アメリカ南北戦争	○	○						
13	産業資本主義の発展と帝国主義	イギリスの覇権とヨーロッパ諸国	○	○						
		南北アメリカの発展 第2次産業革命 植民地獲得競争	○	○						
後期	近代～現代	18	アジア諸地域の変革運動	清の動揺と東アジア	○	○	世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応、及び19世紀のアジアの特質について a. 関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b. 多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c. 資料から有用な情報を読み取り、文章や図表などにまとめるなどして歴史的な事象を追究する方法を身に付けている。 d. 理解し、その知識を身に付けている。	「学習態度」(授業への取り組み、発言内容、プリントへの取り組み)、「定期試験」、「課題レポート」等をふまえて、総合的に評価する。		
				南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動	○	○				
				西アジアの改革運動	○	○				
		18	世界戦争の時代	第一次世界大戦とヴェルサイユ体制	○	○				
				大戦後の合衆国とヨーロッパ	○	○				
				アジア・アフリカでの国家形成の動き 第二次世界大戦	○	○				
	16	戦後世界秩序の形成	冷戦の形成と展開	○	○					
			多極化	○	○					
			二極時代の終焉	○	○					
			11	相互依存を深める世界	冷戦の終結と新たな世界秩序	○			○	
21世紀の地球的課題と地域世界	○	○								
合計時数(55分授業)		128								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史研究	学年	第3学年	教科書	浜島書店「新詳日本史」 実教出版「新詳述日本史料集」 数研出版「改訂版 大学共通テスト対策チェック&演習 日本史B」
		単位数	4単位	副教材	

**学習目標**  
 日本における文化・諸制度について、周辺諸国との関わりを踏まえて深く理解する。また、多彩な国際環境の中で日本文化の特性を修得し、併せて自己の言葉で表現する力を身に付ける。日本の近現代の歩みと発展・太平洋戦争までの歴史の展開を様々な視点で深く考察し、多面的な物事の見方・考え方を修得する。

**学習方法**  
 ○テーマ学習を設定し、自ら考え論ずる活動を行う。  
 ○進んで不明点を解明し、また、周囲の生徒と共同で主体的に考えていく活動を行う。  
 ○随時問題演習を行い、実践的な学力を身に付けるようにする。

学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度
b	思考・判断・表現	日本の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や東アジア世界の特質を多面的・多角的に考察し、世界の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
c	資料活用の技能	思考・判断・表現の場面において、日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、適切に活用している。
d	知識・理解	日本の歴史や東アジアの仏教文化についての基本的な事柄を、地理的条件や世界史的な視野と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前期	I 原始・古代、中世 ・原始、古代、中世における日本の社会と仏教の受容	36	1 日本文化のあけぼの	列島の形成から古墳文化成立にかけての日本文化の特質	○				a: 日本の古代国家の統一から貴族政権の変遷までを、仏教文化の受容や東アジア諸国(特に中国や朝鮮)との関わりの中で意欲的にとらえようとしている。 b: 仏教文化の受容の在り方や、古代社会制度の変遷について理解し、その歴史的意義について、多角的・多面的に考察する力を身に付けている。 c: 国内文化の特徴を捉え、古代から中世への変化について諸史料を読みとき、正確な知識を身に付けている。 d: 日本の古代国家の統一から貴族政権の変遷までの歴史の流れを、理解している。	定期考査 課題レポート ワークシート 記述内容	
			2 水稲農業の開始と社会生活の進展	古代国家と仏教文化	○	○					
			3 東アジア文化の影響と律令制度の成立	貴族政治の特質と中国と朝鮮・日本との関係、文化の受容	○		○				
			4 摂関政治と荘園公領制の展開	古代の崩壊と中世への変遷	○	○					
		28	5 武家社会の成立と文化の新機運	武家政権の成立と中世に生きる人々の特質	○	○					a: 武家社会の成立発展過程と、武家社会の文化の特質について、意欲的に追究しようとしている。 b: 武家社会の成立から変遷、特色について、多角的・多面的に考察する力を身に付けている。 c: 中世の人々の具体的な営みを絵画資料などから積極的にイメージし、再現できる。さらに文字史料を正確に読み取り、自己の考えをまとめている。 d: 武家政権の成立から変遷、特色について理解している。また、蒙古や明、ヨーロッパ諸国との関係と文化の変容を把握し、日本文化の特徴的な様相をとらえている。
			6 武家社会の展開と室町文化	東アジアとの関わりから考える武家政権の特色	○	○					
後期	II 近世、近現代 ・近世、近代の日本における海外文化の受容と発展	32	7 幕藩体制の展開と近世文化の成立	ヨーロッパ文明との出会いによる日本文化の変質	○		○	a: 様々な近世文化に積極的に親しみ、現代の文化に通底する普遍性を理解しようとする意欲を持っている。 b: 織豊政権の特色と南蛮貿易などと関係して理解し、江戸時代につながる歴史の流れを考察している。 c: 幕藩体制の成立と変化を捉えるとともに、史料の読解から当時の人々の考え方や行動を追究している。 d: 織豊政権と幕藩体制の成立と変遷を、東アジアの中の日本という視点を持って理解している。	定期考査 課題レポート ワークシート 記述内容		
			8 幕藩体制の動揺と文化の成熟	幕藩体制がもたらした独自の文化の発達	○	○					
				鎖国下で発達した国学・儒教・仏教の意味と政治に与えた影響	○	○					
				鎖国下で発達した国学・儒教・仏教の意味と政治に与えた影響	○	○					
		32	9 近代への転換	東アジアにおける近代国家誕生の意義と文化比較	○	○					a: 近代・現代史の学習を通じて、日本のたどってきた道について公正な視点から捉え、理解しようとする主体的な意欲を持っている。 b: 日本の近代化と両大戦に至る社会の変化について考察し、戦前、戦中の日本社会を多角的に理解している。また、戦後の経済成長や文化の大きな変容を事実即して説明し、伝えることができる。 c: 史料から戦争の実態を理解し、戦争が生活・文化に与えた影響を具体的に捉えている。 d: 近代国家成立の意義と東アジアにおける先進的な役割を理解し、併せて欧米文明の受容の意味について把握することができる。
			10 近代国家の形成	繰り返される戦争が日本と東アジア社会に与えた影響とその問題点	○	○					
	11 両大戦間の日本と市民文化	ファシズムがもたらした文化統制	○		○						
	12 十五年戦争と日本	戦後のアメリカ文化の受容と日本社会の変質	○	○	○	○					
	13 現代の日本と新しい文化										
合計時数(55分授業)		128									

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・地理B	学年	第3学年	教科書	帝国書院「新詳地理B」
		単位数	3単位	副教材	帝国書院「新詳地理資料COMPLETE2021」

学習目標	1 現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察する。 2 現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を養う。 3 国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。	
	1. 授業における課題に対して自ら考え、また、資料を活用することでデータを読み取って考察する活動を行います。 2. 授業においては補助プリントや演習プリントを利用し、資料集も活用します。 3. 適宜、時事的な題材も取り上げますが、普段から世界の出来事にも関心を持ちつつ学習に取り組みましょう。	
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a 関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。
	b 思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究した過程や結果を適切に表現している。
	c 資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。
	d 知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	さまざまな地図と地理的 技能	2	地理情報と地図	・地図の発達 ・地図の種類とその利用 ・地理情報の地図化	○	○			a: 現代世界の地図について、さまざまな技術を利用してつくられた地図の図や比較、地理情報の地図化などの活動を通して、現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 c: 作成方法や世界観が異なる現代世界のさまざまな地図を収集・比較し、有用な情報を適切に選択できる。	授業への取り組み(発言内容、プリント類への取り組み)、定期試験、課題レポート等をふまえて、総合的に評価する。
		4	地図の活用と地域調査	・地図の活用 ・身近な地域の調査	○	○			a: 地図の活用と地域調査について、地形図の図や資料収集などを意欲的に行い、地域調査に対する関心と課題意識を高めている。 c: 地形図の諸図などを通して、調査内容に関する地域の情報を適切に収集・選択できる。	
	21	自然環境	・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題	○	○			b: 世界の自然環境について、その分布や特徴を成因と関連付けて考察するとともに、人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 d: 世界の自然環境について、分布や特徴、成因や人間生活とのかかわりについて理解し、その知識を身に付けている。		
	21	資源と産業	・世界の農林水産業 ・食料問題 ・世界のエネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・世界の工業 ・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏	○	○			b: 現代世界や日本の産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 d: 世界の産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて地域区分やそれぞれの特徴を理解し、その知識を身に付けている。		
後期	現代世界の系統地理的 考察	8	人口、村落・都市	・世界の人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題	○	○			b: 世界の人口について、世界の人口分布のかたよりと人口増加の原因、人口構成と人口転換の考え方、国際的な人口移動の背景を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 d: 世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみを理解し、その知識を身に付けている。	授業への取り組み(発言内容、プリント類への取り組み)、定期試験、課題レポート等をふまえて、総合的に評価する。
		7	生活文化、民族・宗教	・世界の衣食住 ・民族と宗教 ・現代世界の国家 ・民族・領土問題	○	○			b: 世界の衣食住や宗教について、さまざまな衣食住の地域的差異の背景、世界と日本の衣食住の変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 d: 衣食住の分布や地域的差異の特徴、画一化の進展状況などを理解し、その知識を身に付けている。	
	2	現代世界の地域区分	・地域区分とは何か	○	○			a: 地域区分の目的や意義をふまえて、その有用性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 c: 地域区分の目的や意義をふまえてさまざまな地域区分を示した図から有用な情報を適切に選択し、読み取ることができる。		
	26	現代世界の諸地域	・地域の考察方法 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○	○	○	○	b: 世界の諸地域について、日本との関係を含め歴史的背景をふまえた地域の姿容、地域的特色や地球的問題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c: 世界の諸地域の自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、世界の諸地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d: 世界の諸地域の自然の特徴、日本との関係を含め歴史的背景をふまえた地域の姿容、地域的特色や地球的問題を理解し、その知識を身に付けている。		
	5	現代世界と日本	・日本が抱える地理的な諸課題 ・日本が抱える課題の追究	○	○	○	○	b: 日本が抱える地理的な諸課題について、これまでの歴史的経緯などをふまえて、その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c: 現代世界の日本に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに日本が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などを読み取ることができる。 d: さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本の現状と今後重要な取り組みを理解し、その知識を身に付けている。		
合計時数(55分授業)		96								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	公民・現代社会	学年	第3学年	教科書	実教出版「高校現代社会 新訂版」
		単位数	2単位	副教材	第一学習社「本質が見えてくる 最新現代社会資料集 新版」

**学習目標**  
 現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、社会的事象に対する見方や考え方を深め、公正な判断力を持つことができる。  
 主に、現代の日本の政治及び国際政治について学習し、民主政治の本質について探究し、政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。また、人間としての在り方や生き方について考える力の基礎を固め、これからの国際社会を生きる良き市民として必要な能力と態度を身に付ける。

**学習方法**  
 ○ 講義と併せて時事問題を中心に自ら課題を設定し発表する等の学習活動をとおして、現代社会の諸問題に主体的に取り組む、自ら考える力を深める。  
 ○ 学習プリントや問題演習を利用しながら、現代社会の諸問題に対する理解を深め、学力の向上を図る。  
 ○ 定期的に家庭学習におけるレポートや副教材を利用した課題を提出する。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	現代社会の諸問題や日本の政治及び国際社会について関心を高め、主体的に政治に関わる態度を深めようとする。	
b	思考・判断・表現	現代社会の諸問題や日本の政治及び国際社会について課題を見いだし、公民としての生き方を広い視野に立って考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。		
c	資料活用 の技能	メディア等を通して現代社会の諸問題や日本の政治・国際社会で起きていることを知り、有用な情報を主体的に選択する方法を身に付け、効果的に活用している。		
d	知識・理解	現代社会の基本問題と人間としての生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。		

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分している。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	(1) 現代の民主政治と民主社会	16	現代の国家と民主政治	基本的人権の保障と法の支配	○			○	a: 近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権・多数決・権力分立などの基本原理と政治制度の多様性をとらえている。 b: 人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義の基本原理の特質を理解している。 c: 近代の人権思想の歩みと近代の民主主義国家の政治原理および現実の政治機構との関わりをとらえている。 d: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言文書を通じて、民主主義の原理の形成過程をとらえている。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み ・定期テスト
				国民主権と議会制民主主義		○		○		
				現代世界の政治制度	○			○		
				日本の領域	○			○		
前期	(1) 現代の民主政治と民主社会	16	日本国憲法と国民生活	日本国憲法の成立		○	○	○	a: 日本国憲法の成立過程とその三大基本原理を理解し、地方自治・世論・選挙・政党などの意味をとらえている。 b: 憲法の基本原理の正確な理解に基づき、日本の防衛問題や人権問題に関心をもち政治の主体としての自覚をもっている。 c: 憲法の平和主義と日本の防衛問題との関連、憲法の人権規定と現実の人権問題との関わりをとらえている。 d: 憲法第9条に関する政府解釈の推移と日本の防衛政策と日米安保体制の変化をとらえている。	
				平和主義	○	○		○		
				基本的人権の保障	○	○	○	○		
				政治機構と国民生活			○	○		
後期	(2) 国際社会の動向と日本の役割	16	国際社会の動向	国際政治の動向と様々な人種・民族問題	○			○	a: 国際社会と国際法・国際組織の原理を理解し、戦後の国際政治の動向と人権民族問題や軍縮問題の現状をとらえている。また、経済摩擦や南北問題の日本の役割も理解している。 b: 国際政治の動向に興味関心をもち、人権尊重の立場から、人種民族問題・軍縮問題の現状をとらえている。 c: 戦後の国際政治の動向と国際紛争との関わりを理解し、国際組織が紛争解決のために果たす役割をとらえている。また、国際経済の動向についても経済摩擦や南北問題の原因および解決のための視点をとらえている。 d: 国際政治年表や国際紛争と地域的安全保障の地図を活用し、国連に求められる役割と新しい秩序の理念をとらえている。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み ・定期テスト
				国際経済の問題と日本の役割			○	○		
合計時数(55分授業)		64								

# 令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	公民・政治・経済	学年	第3学年	教科書	第一学習社 「高等学校 改訂版 政治・経済」
		単位数	3単位	副教材	浜島書店「最新図説政経」

学習目標	○民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について、客観的に理解する力を身に付ける。 ○政治・経済・国際関係などに関する諸問題について主体的に考察する態度を身に付ける。 ○公正な判断力を持ち、良識ある公民として行動できる能力と態度を身に付ける。
------	--

学習方法	○授業において板書を写すだけでなく、自らの意見等もそこに加えていきましょう。 ○定期的にレポートをまとめることで、知識や他の人の考え方を知りましょう。 ○グループで調べ学習を行うことにより、共同で考える訓練を行います。
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	現代の政治・経済・国際関係に関心を持ち、それらの課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。	
b	思考・判断・表現	現代の政治・経済・国際関係に関わる事象を見だし、解決のあり方など広い視野に立って多角的・多面的に考察し、様々な立場を踏まえながら公正に判断している。		
c	資料活用の技能	現代の政治・経済・国際関係に関わる諸資料を収集し、情報を主体的に選択し活用するとともに、考察した結果を適切に表現できる。		
d	知識・理解	現代の政治・経済・国際関係に関する基本的な事項や理論を理解し、その知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点	単元(題材)の評価規準	評価方法	
前期	1章 現代の政治	24	1. 現代国家と民主政治 2. 日本国憲法と基本的人権	民主主義の基本的原理	○	a. 民主主義の歴史や基本的原理に関して、歴史学習と関連づけながら興味・関心を抱いている。 b. 現実の人権問題や平和問題に対して自らの考えを持ち、諸課題を追求する姿勢を示している。 c. 人権・平和主義などの問題について、諸資料を収集し、主体的に選択できる。 d. 民主政治の基本原則や憲法条文などについて基本的な知識を持っている。	・授業への取り組み ・単元テスト ・確認テスト ・レポート	
				基本的人権の歴史、法の支配、世界の主な政治体制	○			
				日本国憲法の成立、基本的人権の保障と新しい人権	○			
				平和主義	○			
前期	1章 現代の政治	24	1. 日本の政治制度と政治参加 2. 現代の国際政治 3. 日本の平和主義と国際平和	国会・内閣・裁判所の組織と権能	○	a. 国会・内閣・裁判所や地方自治の仕組みや制度に興味・関心を持っている。 b. 現代の国際政治の動向に関心を持ち、国際問題などの諸原因を意欲的に探求している。 c. マスメディア等を通じて情報を収集し、主体的に選択している。 d. 政党政治、官僚制、選挙制度等に関して客観的な知識を持っている。	・授業への取り組み ・単元テスト ・確認テスト ・レポート	
				地方自治の仕組み	○			
				政党と選挙、世論の役割	○			
				国際平和と外交、政治の動向	○			
後期	2章 現代の経済	24	1. 現代の経済社会 2. 現代の日本経済と福祉の向上	経済主体と経済活動	○	a. 現実の日本経済の動向や問題点に興味・関心を持っている。 b. 現実の経済から、課題を見だし、様々な論者の意見の比較し、主体的に判断している。 c. 経済動向に関する諸資料を様々なメディアから収集している。 d. 現代企業、金融・財政、市場経済、国民所得などについて基本的な知識を持っている。	・授業への取り組み ・単元テスト ・確認テスト ・レポート	
				市場経済の機能と限界	○			
				金融と財政	○			
				経済成長と景気変動	○			
	後期	2章 現代の経済	24	1. 現代の国際経済 2. 現代社会の諸課題	国際経済の仕組み	○	a. グローバル化が進む国際経済の動向に興味・関心を示している。 b. 現代日本の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決のあり方について客観的に考えようとしている。 c. 収集した資料から国際社会で日本が果たすべき役割などについて情報を主体的に選択・活用できる。 d. 自由貿易と保護貿易の考え方、国際収支の見方、為替相場の仕組み等国際経済の基本的知識を習得している。	・授業への取り組み ・単元テスト ・確認テスト ・レポート
					国際協調と国際機関の役割	○		
					環境保全と資源エネルギー問題・農業と食料問題	○		
					少子高齢化と社会保障	○		
合計時数(55分授業)		96						

# 令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・数学Ⅲ	学年	第3学年	教科書	啓林館「詳説 数学Ⅲ改訂版」
		単位数	5単位	副教材	啓林館「アドバンスプラス改訂版 数学Ⅲ」

**学習目標**  
 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法について理解を深め、知識の習得とその技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力や、それらを積極的に活用する態度を身に付ける。

**学習方法**  
 ○授業は教科書の内容を中心に進め、基礎学力の向上を図ります。  
 ○進路に応じた演習問題を扱うので、授業の予習復習を行い、授業内容を十分に理解しておきましょう。  
 ○授業で習ったことを活用できるよう、副教材などを利用し練習を繰り返すようにしましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、考え方や体系に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b	数学的な見方や考え方	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
c	数学的な技能	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法を身に付けている。	
d	知識・理解	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	(1) 複素数平面	24	複素数平面	複素数平面、複素数の極形式、ド・モアブルの定理	○	○	○	○	a: 複素数平面、極形式に関心を持ち、それらのよさを認識し、考察に活用しようとしている。 b: 複素数の平面上における表し方を理解し、考察・表現できるようにする。 c: 複素数平面において、方程式が表す図形について考察することができる。 d: 複素数平面、極形式について理解し、計算や高次方程式を解くことができる。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等
			平面図形と複素数	平面図形と複素数	○	○	○	○	a: 2次曲線の定義・性質に関心をもつとともに、それらのよさを認識し、考察に活用しようとしている。 b: 2次曲線の平行移動を理解し、さらに2次曲線と直線の位置関係について考察することができる。 c: 2次曲線の媒介変数表示や極座標、極方程式について理解し、グラフをかくことができる。 d: 式と曲線の媒介変数表示や極座標の概念、法則等を体系的に理解している。	
	(2) 式と曲線	16	2次曲線	放物線、楕円、双曲線、2次曲線と直線の共有点、平行移動、離心率	○	○	○	○		
			媒介変数表示と極座標	曲線の媒介変数表示、極座標と極方程式、いろいろな曲線	○	○	○	○		
(3) 関数	12	分数関数と無理関数	分数関数、無理関数、合成関数逆関数	○	○	○	○	a: 分数・無理関数、逆関数、合成関数に関心をもつとともに、それらのよさを認識し、考察に活用しようとしている。		授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等
(4) 極限	28	数列と関数の極限	数列の極限、無限等比級数、関数の極限、三角関数の極限	○	○	○	○	b: 数列の極限、無限級数について理解し、極限值や級数の和について考察することができる。 c: 関数の極限を求めることができ、関数の連続性を調べることができる。 d: 数列や関数の極限について理解し、極限值を求めることができる。		
後期	(5) 微分法	35	微分と導関数	微分可能と連続、微分と導関数、合成関数と逆関数の微分法	○	○	○	○	a: 関数の連続、微分可能について理解する。いろいろな関数の導関数とその計算に関心をもつとともに、それらのよさを認識し、考察に活用しようとしている。 b: 導関数を用いて様々な関数について、関数の増減・凹凸・変曲点を調べ、関数の特徴や性質を考察することができる。 c: 関数のグラフをかき、最大・最小、方程式・不等式、速度・近似式等に応用することができる。 d: 微分法の基本的な性質、概念、法則等を体系的に理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等
			いろいろな関数の導関数	三角関数の導関数、対数・指数関数の導関数、高次導関数	○	○	○	○		
			導関数の応用	接線の方程式、平均値の定理、関数の増減	○	○	○	○		
			いろいろな応用	グラフの凹凸、第2次導関数と極大・極小、速度と加速度、関数の近似値	○	○	○	○		
(6) 積分法	45	不定積分	不定積分、置換積分法と部分積分法	○	○	○	○	a: いろいろな関数の不定積分、計算法則に関心をもつとともに、それらのよさを認識し、考察に活用しようとしている。 b: 置換積分・部分積分法を理解し、様々な不定積分の計算を考察することができる。 c: 定積分を用いて様々な図形の面積、立体の体積を求めることができる。 d: 積分法の基本的な性質、概念、法則等を体系的に理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等	
		定積分	定積分、定積分と微分、区分求積法と定積分	○	○	○	○			
		面積	面積	○	○	○	○			
		体積	体積、回転体の体積	○	○	○	○			
		曲線の長さ	曲線の長さ	○	○	○	○			
合計時数(55分授業)	160									

# 令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・一般数学	学年	第3学年	教科書	数研出版「ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編」
		単位数	3単位	副教材	

**学習目標**  
 数学Ⅰ・Aの全領域、数学Ⅱ・Bの全領域の考え方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようになるとともに、それらを活用できるようにする。大学入学共通テスト対策を図り対応する能力を身に付ける。実践問題演習により実践力を身に付け、的確に表現できるようになる。

**学習方法**  
 ○授業では、問題集の標準からやや発展的な問題を中心に演習および解説を行います。  
 ○授業では問題を精選し進めていくので、授業で取り組む問題以外は宿題や自主学習等で扱います。  
 ○大学入学共通テストに準ずる問題を基本的に扱うので、基本事項の確認・授業の復習などは自主的に行うようにしてください。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する能力を身に付けている。
b	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身に付けている。	
c	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
d	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前期	数学Ⅰ 数学A	24	I 数と式 II 集合と命題 III 2次関数 IV 図形と計量 V データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の計算</li> <li>1次不等式</li> <li>集合</li> <li>命題と論証</li> <li>2次関数</li> <li>2次関数の最大・最小</li> <li>2次方程式と2次不等式</li> <li>三角比の基本</li> <li>三角比と図形</li> <li>データの代表値とちらばり</li> <li>データの相関</li> </ul>				○	○	a:数と式、2次関数、図形と計量、データの分析に関心をもち、それらに関する性質を調べようとする。 b:数と式、2次関数、図形と計量、データの分析について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:事象を数と式、2次関数、図形と計量、データの分析を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:数と式、2次関数、図形と計量、データの分析における基本的な用語や記号の意味を理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等
	数学Ⅱ	24	I 場合の数と確率 II 図形の性質 III 整数の性質 IV 式と証明 V 複素数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数・順列・組合せ</li> <li>確率</li> <li>平面図形</li> <li>空間図形</li> <li>整数の性質</li> <li>式と証明</li> <li>複素数と方程式</li> </ul>	○	○			a:場合の数と確率、図形や整数、いろいろな式に関心をもち、それらに関する性質を調べようとする。 b:場合の数と確率、図形や整数、いろいろな式について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:事象を場合の数と確率、図形や整数、いろいろな式を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:場合の数と確率、図形や整数、いろいろな式における基本的な用語や記号の意味を理解している。		
後期	数学Ⅱ 数学B	24	I 図形と方程式 II 三角関数 III 指数関数 IV 対数関数 V 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>点・直線・円</li> <li>曲線と直線</li> <li>軌跡と領域</li> <li>三角関数</li> <li>指数関数</li> <li>対数関数</li> <li>導関数と接線</li> <li>関数の値の変化</li> <li>関数の最大・最小</li> <li>微分法の応用</li> <li>不定積分・定積分</li> <li>面積</li> </ul>	○		○	○	a:図形と方程式、三角・指数・対数関数、微分・積分法に関心をもち、それらに関する性質を調べようとする。 b:図形と方程式、三角・指数・対数関数、微分・積分法について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:事象を図形と方程式、三角・指数・対数関数、微分・積分法を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:図形と方程式、三角・指数・対数関数、微分・積分法における基本的な用語や記号の意味を理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等	
		12	I ベクトル II 数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベクトルの基本</li> <li>平面ベクトルと図形</li> <li>空間ベクトルと図形</li> <li>等差数列・等比数列</li> <li>種々の数列</li> <li>漸化式と数列</li> <li>数学的帰納法</li> <li>数列の応用</li> </ul>		○	○	○	a:ベクトル、数列に関心をもち、それらに関する性質を調べる。 b:ベクトル、数列について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:ベクトル、数列の内容を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:ベクトル、数列における基本的な用語や記号の意味を理解している。		
	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B	12	総合演習	大学入学共通テストを想定した問題演習	○	○	○	○	大学入学共通テストに準ずる問題を扱い、実践的な学力を身に付けている。		
合計時数(55分授業)		96									

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・応用数学	学年	第3学年	教科書	数研出版「メジアン数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B」
		単位数	3単位	副教材	

**学習目標**  
 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの全単元の内容について理解を深め、基礎的な知識に基づき、応用・発展的な技能の習得・習熟をはかる。記述式問題に対応する能力を身に付け、的確に表現・処理できるようになる。記述力を洗練する。

**学習方法**  
 ○授業では、問題集の標準から発展的な問題を中心に演習および解説を行います。  
 ○授業では、問題を精選し進めていくので、授業で取り組む問題以外は宿題や自主学習等で扱います。  
 ○難関大学入試問題も扱うので、基本事項の確認・授業の復習などは自主的に行うようにしてください。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	数学Ⅰ	20	1 数と式 2 関数と方程式・不等式 3 式と聡明, 論理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の値</li> <li>・恒等式、整式の割り算</li> <li>・関数のグラフ</li> <li>・2次関数と方程式・不等式</li> <li>・高次方程式と複素数</li> <li>・論理と証明</li> </ul>	○	○	○	○	a:数と式、関数、論理に関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:数と式、関数、論理について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:事象を数と式、関数、論理を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:数と式、関数、論理における基本的な用語や記号の意味を理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等
	数学A 数学Ⅱ		4 整数 5 場合の数と確率 6 平面図形 7 図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数</li> <li>・場合の数</li> <li>・確率</li> <li>・平面図形</li> <li>・図形と式</li> </ul>	○	○	○	○	a:整数、場合の数・確率、平面図計、図形と式に関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:整数、場合の数・確率、平面図計、図形と式について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:事象を整数、場合の数・確率、平面図計、図形と式を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:整数、場合の数・確率、平面図計、図形と式における基本的な用語や記号の意味を理解している。	
後期	数学Ⅰ	24	8 三角関数・指数・対数関数 9 微分法・積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比・三角関数</li> <li>・指数関数</li> <li>・対数関数</li> <li>・極値、接線、関数の決定</li> <li>・微分法と最大・最小、不等式への応用</li> <li>・微分法の方程式への応用</li> <li>・積分の計算</li> <li>・定積分と面積</li> </ul>	○	○	○	○	a:種々の関数、微分法、積分法に関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:種々の関数、微分法、積分法について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:種々の関数、微分法、積分法を用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:種々の関数、微分法、積分法における基本的な用語や記号の意味を理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等
	数学Ⅱ 数学B		10 数列 11 ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等差数列・等比数列</li> <li>・いろいろな数列の和</li> <li>・漸化式</li> <li>・数学的帰納法</li> <li>・平面ベクトル</li> <li>・ベクトルの内積</li> <li>・空間ベクトル</li> <li>・空間座標</li> </ul>	○	○	○	○	a:数列・ベクトルに関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:数列・ベクトルについて、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:数列・ベクトルを用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:数列・ベクトルにおける基本的な用語や記号の意味を理解している。	
合計時数(55分授業)		96								



令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・実践数学 I・A	学年	第3学年	教科書	数研出版「ベーシックスタイル数学演習 I・A 受験編」
		単位数	2単位	副教材	

**学習目標**  
 数学 I の方程式と不等式、数学 A の論理と集合などについて相互に関連する内容の理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断できるようにする。

**学習方法**  
 ○授業では、問題集の基本から標準およびやや発展的な問題の演習および解説を行います。  
 ○授業では問題を精選し進めていくので、授業で取り組む問題以外は宿題や自主学习等で扱います。  
 ○センター大学入試問題を基本的に扱うので、基本事項の確認・授業の復習などは自主的に行うようにしてください。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	数学 I	7	数と式	整式の展開・因数分解	○	○	○	○	a:整式、実数、方程式と不等式、集合と命題に関心をもつとともに、その有用性を認識し、問題の解決に活用しようとする。 b:数の範囲を拡張することの意味を理解し、整式の見方を豊かにし、方程式や不等式について考察することができる。集合を用いて、命題の真偽を判断することができる。 c:無理数を計算したり、整式の基礎的な計算ができる。集合の考えを生かし、数学的な論理を活用することができる。 d:整式、実数、方程式と不等式、集合と命題について理解し、基本的な知識を身に付けている。	
				根号を含む式の計算						
				整数部分・小数部分						
				絶対値を含む1次方程式						
10	2次関数	グラフの平行・対称移動	○	○	○	○	a:2次関数とそのグラフや値の変化に関心をもつとともに、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、2次関数を活用しようとする。 b:表、式、グラフを関連づけながらとらえることができ、具体的な事象について、ともなって変化する2変数に着目して変化の様子を見出すことができる。 c:関数を用いて数量の変化を表現し、関数の値の変化を調べることができる。 d:2次関数とそのグラフ及び関数の値の変化について理解し、基礎的な知識を身に付けている。			
		2次関数の最大最小								
		2次関数の決定								
		2次不等式								
		放物線と直線の関係								
		2次方程式の解の判別								
9	図形と計量	三角比の利用	○	○	○	○	a:線分の長さや角の大きさなどを用いた計量に関心をもつとともに、具体的な事象の考察に活用しようとする。 b:三角比の考えを用いて、線分の長さや角の大きさなどを用いた図形の計量を行う過程を考察することができる。 c:具体的な事象の数量の関係を三角比などを用いて表現し、図形の様々な計量を行うことができる。 d:直角三角形における三角比の意味、三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、図形の計量の基本的な知識を身に付けている。			
		三角比の相互関係								
		正弦定理・余弦定理								
		三角形の面積								
		円に内接する四角形								
6	データの分析	空間図形への応用	○	○	○	○	a:様々な事象から見出される確率や統計に関するデータの分析に関心をもち、問題解決の中で活用しようとする。 b:データを整理した表や図から傾向を把握することができる。 c:統計の基本的な考えを用いてデータを整理・分析してその傾向を的確にとらえ説明することができる。 d:分散、標準偏差、などの統計の用語を理解している。			
		散布図と相関係数								
後期	数学 A	10	場合の数と確率	場合の数・順列	○	○	○	○	a:不確定な事象を数学的にとらえることの有用性を認識し、具体的な事象の考察に活用しようとする。 b:順列、組合せなどの数の求め方を身に付け、具体的な事象の確率を考察することができる。 c:具体的な事象の起こりうる場合の数を順列や組合せの考えを用いて表現し、確率の基本性質を活用して、その確率を求めることができる。 d:場合の数を求め、確率を求める知識を身に付けている。	
				円順列・組合せ						
				同じものを含む順列						
				確率・反復試行の確率						
		8	平面図形	条件付き確率	○	○	○	○	a:三角形や円の性質に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、問題の解決に活用しようとする。 b:図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。 c:図形の性質が論理的に正しいことを表現することができる。 d:図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
				三角形の性質						
8	整数の性質	フェバ・メネカスの定理	○	○	○	○	a:整数の性質に関心をもち、事象の考察に活用しようとする。 b:素因数分解、互除法などの方法を身に付け、様々な方法で整数の性質を考察することができる。 c:整数の性質を用いて約数の個数、最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 d:公約数や公倍数の求め方の知識を身に付けている。			
		円の性質								
		空間図形と多面体								
6	総合演習	余りによる整数の分類	○	○	○	○	共通テストを意識した問題演習を行い、実践的な学力定着を図る。			
		1次不定方程式								
6	総合演習	いろいろな方程式の整数解	○	○	○	○	共通テストを意識した問題演習を行い、実践的な学力定着を図る。			
		n進法								
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・物理	学年	第3学年	教科書	教研出版「改訂版 総合物理1 力と運動・熱」 教研出版「改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子」
		単位数	4単位	副教材	第一学習社「セミナー 物理」

**学習目標**  
物理的な事物・現象に対する探究心を深め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を身に付けることを目標とします。

**学習方法**  
○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。  
○ 復習を心がけ、各単元終了ごとに教科書やノートの内容が理解できているかどうか確認しましょう。  
○ 家庭学習において副教材等を活用し、演習問題を数多く解き、理解を深めましょう。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的に探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
b	思考・判断・表現	物理的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
c	観察・実験の技能	物理的な事物・現象に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
d	知識・理解	物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、意識を身に付けている。

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	(1)力学・熱力学・波動	40	力と運動	平面内の運動 剛体にはたらく力	○	○	○	○	a: 平面の運動をベクトルの内容と関連させながら意欲的に理解しようとする。大きさのある剛体に力を加えると、並進運動だけではなく、回転運動を引き起こすこともある。どのような力を加えたら回転が起こるかに関心を示している。 b: 物体の運動を表すなどの物理量について、ベクトルを用いて考えることができる。 c: 速度、力のベクトルの演算や作図についての理解を深める。 d: 物体の平面内の運動について運動方程式を立てることができる。	・定期試験 ・実験レポート ・小テスト ・課題 ・授業への取り組み
			運動量の保存	○	○	○	○	a: 気体の圧力や体積、温度を変えると、これらの量の間にどのような関係が成り立っているのだろうかということに関心を示している。 b: 気体の圧力、体積、絶対温度の間の関係について理解している。 c: 温度や分子量から水素分子などがどのくらいの平均速度で運動しているか推測できる。 d: 状態変化後の気体の圧力、体積、絶対温度を求めることができる。	・定期試験 ・実験レポート ・小テスト ・課題 ・授業への取り組み	
後期	(2)波動・電磁気学・原子物理学	18	波	波の伝わり方	○	○	○		○	a: 正弦波が伝わっているときの媒質の周期的な運動に興味をもっている。 b: 波を表す式中の物理量について理解しており、変位などを計算で求めることができる。 c: 波が干渉により強めあったり、弱めあったりすることを具体例を用いて説明することができる。 d: 回折現象はどのようなときに起きるか、また波長との関係を理解している。
			音、光	○	○	○	○	a: 電場と電位の関係を定量的に考えることができる。 b: 電気力線のモデル実験について、実験前に結果を予測し、表現することができ、電荷の大きさの比や正負を考えることができる。 c: 磁場中で電流が受ける力を計算で求めることができる。電磁誘導のしくみを理解している。	・定期試験 ・実験レポート ・小テスト ・課題 ・授業への取り組み	
後期	(3)問題演習	9	電気と磁気	電場	○	○	○		○	a: 原子の構成要素について、意欲的に理解しようとする。 b: エネルギー準位を移る電子が、放出・吸収した光子とスペクトルとの関係を考えることができる。 c: 条件を変えて得られたさまざまな実験結果をもとに、光電効果の特徴を説明することができる。 d: 原子の構造や、電子の性質が解明されるまでの研究について定量的に理解している。
			電流	○	○	○	○	a: 物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的態度を身に付けている。 b: 物理的な事物・現象に関の中に問題を見出し、導き出した考えを的確な表現方法を身に付けている。 c: 条件を変えて得られたさまざまな実験結果をもとに、光電効果の特徴を説明することができる。 d: 物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、意識を身に付けている。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への取り組み	
後期	(3)問題演習	9	原子	電子と光	○	○	○		○	a: 物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、意識を身に付けている。
			原子と原子核	○	○	○	○			
(3)問題演習		9	各章の単元の復習	章末にある演習問題を解く	○	○	○	○	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への取り組み	
合計時数(55分授業)		128								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・生物	学年	第3学年	教科書	実教 生物 新訂版
		単位数	4単位	副教材	東京書籍「NEW GLOBAL 生物基礎+生物」

**学習目標**  
 生物や生物現象に対する探求心を高め目標をもって実験をし、生物学の概念や法則の理解を深め、科学的な自然観を身に付けることを目標とします。

**学習方法**  
 ○ 授業における課題に対して自ら考える活動を行います。  
 ○ 授業においては実験実習を行い、レポートを作成し提出してもらいます。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	生物や生物現象について関心を持ち探求しようとするともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
b	思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見いだし、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
c	観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
d	知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	生命現象と物質	10	細胞と分子	生物物質と細胞	○	○		○	a:生物を構成する物質や元素について知ろうとすることができる。 b:生体での元素と物質の関係、水の重要性を説明できる。 c:酵素・呼吸・光合成に関する実験を行い、実験データと理論値のずれから作業の改善点を考察することができる。 d:生体を構成する主要な元素、有機物、無機物について理解することができる。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み
				生命現象とタンパク質	○		○	○		
		12	代謝	代謝と呼吸・合成・窒素同化	○		○	○		
				遺伝情報の発現	DNAの構造と複製	○	○			
22	遺伝情報の発現とバイオテクノロジー	遺伝情報の発現とバイオテクノロジー	○		○	○	a:遺伝子発現の調節のしくみについて、関心をもって学習する。 b:遺伝子の発現のしくみを理解し、遺伝情報の変化と形質の発現を関連づける。 c:ヒヤシンスの根端を使って体細胞の染色体を顕微鏡で観察する。 d:DNAが染色体にどのように収まっているのか、また、染色体の構成や、染色体と遺伝子の関係について理解する。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み		
		生殖と発生	有性生殖	○		○	○			
20	生殖と発生	動物・植物の発生	動物・植物の発生	○	○		○	a:動植物の発生過程に関心をもち、意欲的に学習する。 b:卵割の特徴、発生過程を説明する。 c:実験材料や手順などは適切であり、いろいろな時期の分裂像を観察できている。 d:染色体に存在する遺伝子の分配について理解する。また、動物の配偶子が形成され、受精に至るまでの過程について理解する。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み	
			動物・植物の反応	動物の反応と行動	○		○	○		a:神経も基本単位は細胞であること、環境の変化に対する植物の反応について意欲的に学習する。 b:各受容器の構造と機能との関係を整理して述べることができる。 c:オーキシンの移動や各部位の感受性の違いなどを実験データをもとにまとめる。 d:ニューロンの構造、興奮の伝導と伝達のしくみ、さらに、神経伝達物質のはたらき、屈性と傾性の違いについて理解する。
後期	生物の環境応答	20	動物・植物の反応	植物の環境応答	○	○		○	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み	
				生物群集と生態系	個体群とその変動	○		○		○
	18	生態と環境	生態系	生態系	○	○		○	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み	
				生命の起源と進化	生物の進化	○	○			○
12	生物の進化と系統	進化のしくみ	進化のしくみ	○		○	○	a:原始地球や生命誕生の過程、進化がどのようなしくみで起こったかについて興味・関心をもつ。 b:さまざまな進化の要素について整理し、それらが進化にどのように結びつくかを説明できる。 c:観察を通じて、ニワトリの翼の骨の配置や筋肉の分布などを正しくとらえる。 d:初期の生物がどのような特徴をもち、どのように進化していったかを系統的に理解する。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み	
			生物の系統	系統に基づく分類	○	○	○	○		a:多様な種が系統にもとづいて分類されることに興味・関心を示す。 b:進化の過程にもとづいて分類された系統分類が自然分類であることを説明できる。 c:形質あるいは分子データによる分類の方法を理解する。 d:種概念、系統分類の方法、各分類群の特徴を進化の過程と関連づけて理解する。
14	生物の系統	3つのドメインによる生物分類	3つのドメインによる生物分類	○			○	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み		
			合計時数(55分授業)	128						

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・応用化学	学年	第3学年	教科書	
		単位数	3単位	副教材	実教出版「四訂版 サイエンスビューー化学総合資料」

**学習目標**  
 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養うことを目標とします。

**学習方法**  
 ○授業においては自分にとって必要なことを考えながら、情報の整理のためにノートを利用します。  
 ○演示実験や生徒実験を通して実験の基本操作を習得し、データの処理の仕方を身に付けましょう。  
 ○基本問題や大学入試問題を数多く解き、計算問題などの解答能力を身に付けましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
b	思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
c	観察・実験の技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	
d	知識・理解	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	物質の変化	12	化学反応の速さ	化学反応の速さとしくみ	○	○		○	a: 化学反応の根本的なしくみに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 b: 反応速度や化学平衡の概念と化学変化の量的関係を理解している。 c: 観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d: 物質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート
				反応条件と反応速度		○	○	○		
	24	化学平衡	可逆反応と平衡状態の変化	○	○		○			
			電解質水溶液の化学平衡		○		○			
無機化学	12	非金属元素	水素・希ガス・ハロゲンとその化合物	○			○	a: 非金属元素とその化合物の性質に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 b: 非金属元素の化合物の生成や確認などの実験の原理を考察できる。 c: 観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d: 非金属元素やその化合物の性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート	
			酸素・硫黄とその化合物	○	○	○	○			
			窒素・リンとその化合物	○	○	○	○			
			炭素・ケイ素とその化合物	○			○			
後期	金属元素	12	アルカリ金属とその化合物	○			○	a: 金属元素とその化合物の性質に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 b: 金属元素の化合物の生成や確認などの実験の原理を考察できる。 c: 観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d: 金属元素やその化合物の性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート	
			2族元素とその化合物	○			○			
			1, 2族元素以外の典型元素の化合物	○	○	○	○			
			遷移元素とその化合物	○	○	○	○			
	天然高分子化合物	12	天然高分子化合物	高分子化合物	○	○		○	a: 高分子化合物の構造や性質に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 b: 高分子化合物の合成や性質の確認などの実験の原理を考察できる。 c: 観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d: 高分子化合物の構造や性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート
				天然高分子化合物	○			○		
	合成高分子化合物	12	合成高分子化合物	合成繊維	○	○		○	a: 食品や衣料など身近な生活物質に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 b: 衣料や材料などの基となる化学物質の確認などの実験の原理を考察できる。 c: 観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d: 身近な生活物質の構造や性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート
				合成樹脂と合成ゴム	○			○		
	生活と物質	12	生活と物質	食品の化学	○			○	a: 食品や衣料など身近な生活物質に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 b: 衣料や材料などの基となる化学物質の確認などの実験の原理を考察できる。 c: 観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d: 身近な生活物質の構造や性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート
				衣料の化学	○			○		
材料の化学				○	○	○	○			
医薬品と化学				○	○		○			
合計時数(55分授業)	96									

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・生物研究	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	浜島書店「2020 大学共通テスト対策 つかむセンター生物基礎」

**学習目標**  
 生物的な事物・現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高める。また探求するための態度を養い、基本的な概念や法則の理解を深め、科学的な自然観を問題演習を通して身に付けることを、目標とします。

**学習方法**  
 ○ 授業における演習に対して自ら考える活動を行います。  
 ○ 授業においては実験実習を行い、レポートを作成し提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	・生物や生物現象に関心や探究心をもち、科学的な態度を身に付けている。
b	思考・判断・表現	・生物や生物現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象にもとづいて科学的に判断し、表現することができる。	
c	観察・実験の技能	・生物や生物現象に関する観察、実験の技能を身に付けている。	
d	知識・理解	・生物や生物現象についての基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	生物と遺伝子	32	生物の特徴	生物の多様性と共通性	○	○	○		a:生物の共通祖先や代謝・呼吸・光合成について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:現生生物の特徴から、生物の共通祖先のモデルを理論的に推定することができる。 c:顕微鏡の扱い方、観察材料に応じたプレパラートの作成法を習得している。 d:すべての生物は共通した特徴をもつことや、代謝・呼吸・光合成について理解している。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み
				細胞とエネルギー	○	○	○			
			遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	○	○	○		a:遺伝子研究の歴史やDNAに興味を示し、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:遺伝子研究の歴史から、実験結果からどのような事実がわかったのかを理解している。 c:押しつぶし法によってプレパラートを作成できるようになる。 d:DNAの二重らせん構造の特徴や複製、タンパク質合成について理解している。	
				遺伝情報の発現	○	○	○			
				遺伝情報の分配	○	○	○			
後期	生物の体内環境の維持	15	生物の体内環境	体液という体内環境	○	○	○		a:体液と恒常性との関係や生体防御に関心をもち、理解しようとしている。 b:恒常性の維持について科学的に考察することができる。 c:実験の結果を的確に記録し、わかりやすくまとめることができる。 d:体液の種類と関係について、生体防御や体内環境の維持について理解している。	・単元テスト ・授業への取り組み
				神経とホルモンによる調節	○	○	○			
				免疫	○	○	○			
後期	生物の多様性と生態系	17	植生の多様性と分布	さまざまな植生	○	○	○		a:陸上の生物集団の成り立ちに関心をもち、バイオームについて理解しようとしている。 b:陸上のバイオームは、そこに生育する植物に依存して成り立つことを科学的に理解している。 d:バイオームの概念を理解している。	・単元テスト ・授業への取り組み
				植生の遷移	○	○	○			
				気候とバイオーム	○	○	○			
			生態系とその保全	生態系	○	○	○		a:生態系の成り立ちやその保全について関心をもち、意欲的に理解しようとしている。 b:食物網において、上位にある生物がいなくなった場合にどのような影響が生じるかなど、生態系のバランスについて科学的に理解している。 c:情報機器などを利用して、信頼のできる情報を得ることができる。 d:生態系の構造やその保全についてを理解している。	
				物質循環とエネルギーの流れとバランス	○	○	○			
				人間活動と生態系の保全	○	○	○			
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	保健体育・体育	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	大修館書店「ステップアップ高校スポーツ2019」

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら希望する種目を選択し、楽しみながら学ぶ喜びを知ることができるようにする。</li> <li>・基礎体力を向上できるようにする。</li> <li>・基本的技能を修得できるようにする。</li> <li>・試合の進め方、方法、ルールを理解できるようにする。</li> </ul>
------	--

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業における課題に対して自ら考えられるような活動を行う。</li> <li>○学習ノート、補助プリント等を利用する。</li> <li>○互いに協力し、自己の責任を果たせるようグループでの活動を行う。</li> </ul>
------	---

学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度
b	思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
c	運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
d	知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	体づくり運動(全員)	6	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・トレーニング</li> </ul>	○	○		○	a:仲間と協力し、積極的に運動に参加している。 b:自分の体力を把握し、適切な目標を設定できる。 d:体づくりの意義を理解している。	・授業への取り組み
	球技・他(全種目男女)	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン</li> <li>・バレーボール</li> <li>・軽スポーツ</li> <li>・テニス</li> <li>・柔道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○	○	球技 a:ルールを守り、公正な態度で練習や試合を行っている。 b:ゲームに必要なルールや審判法を知っている。 c:基本的な技術を向上させることができる。 d:基本的な技術を実践で生かせる。	・授業への取り組み ・記録 ・試験 ・発表
	球技・他(全種目男女)	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・ソフトボール</li> <li>・テニス</li> <li>・水泳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○	○	武道 a:積極的に技を覚えている。 b:自己の能力に応じて練習を工夫できる。 d:武道に対する伝統的な考え方を理解している。	
後期	球技・他(全種目男女)	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン</li> <li>・バレーボール</li> <li>・軽スポーツ</li> <li>・テニス</li> <li>・器械運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○	○	水泳 a:記録の向上の喜びや競泳の楽しさなどを味わっている。 b:自己の目標を達成するための練習を計画している。	
	球技・他(全種目男女)	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・サッカー</li> <li>・テニス</li> <li>・ダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○	○	器械運動 b:自己に合った技を選択している。 c:技の習得し、演技の構成をすることができる。	
	陸上競技(全員)	6	持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・ジョギング</li> <li>・測定</li> </ul>	○	○	○	○	ダンス a:曲に合わせて、楽しく取り組んでいる。 b:自己の能力に応じた課題を選び、自ら考え工夫することができる。	・授業への取り組み ・記録
	体育理論	6	体育理論	豊かなスポーツライフの設計	○	○		○	a:持久走の必要性を理解し、積極的に取り組んでいる。 b:体に負担の少ない走り方を考えている。 c:自己のベスト記録を更新することができる。 d:自己の能力を判断し、適切な目標タイムを設定できる。	・授業への取り組み ・レポート
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	3
教科書	啓林館「Revised ELEMENT English Communication Ⅲ」		副教材	文英堂「SWICH 4 New Edition」 文英堂『Listening Sparkle Advanced 』 いいずな書店「共通テスト対策 Reading40」 いいずな書店「共通テスト対策 Listening30」 東京書籍「コーパス 4500 3rdEdition フェイバリット英単語・熟語（テーマ別）」	

CAN-DO リストに基づく学習到達目標とその評価規準・評価方法	
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	(評価方法) コミュニケーション活動への取組の観察
外国語表現 の能力	<p>話すこと</p> <p>やり取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容や文脈を意識して、適切な表現を用いながら話すことができる。</li> <li>言葉をことさら探さずに、流暢で自然な会話ができる。</li> <li>様々な内容について話すことができる。(1分間)</li> </ul> <p>(評価方法) 小テスト</p>
	<p>発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な内容について、自分の意見を述べながら英語で話すことができる。</li> <li>聞き手を意識して理解しやすい表現を適切に用いることができる。</li> </ul>
	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み手や状況を意識して、適切で幅広い表現を用いることができる。</li> <li>様々なテーマについて、自分の意見をまとめた英文で書くことができる。</li> </ul> <p>(評価方法) 定期テスト、課題</p>
外国語理解 の能力	<p>聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時事問題や社会的なテーマに関する話題について、聞き取ることができる(長いスピーチや英語での講義、複数の人が参加する会話など)。</li> </ul> <p>(評価方法) 定期テスト、小テスト</p>
	<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまなジャンルのまとめた英文を読んで、概要や要点、話の展開を読み取ることができる。</li> </ul> <p>(評価方法) 定期テスト、小テスト、課題</p>
言語や文化についての 知識・理解	<p>(評価方法) 定期テスト、小テスト、課題</p>

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学期	前	時数 (55分授業)	48	単元	Lesson 1 ~ Lesson 5		
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法		
							定期テスト	パフォーマンス	課題
Lesson 1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解の能力	L：統計学に関する説明文を聞き、その概要や要点を理解することができる。						○	
	外国語表現の能力	R：統計学に関する説明文を読み、その概要や要点を理解することができる。						○	
		S：誤解を生むようなグラフや統計データが使われる理由について、グループで意見を伝えあうことができる。							○
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。								
Lesson 2	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解の能力	L：言語の消滅に関する説明文を聞き、その概要と要点を理解することができる。						○	
	外国語表現の能力	R：言語の消滅に関する説明文を読み、その概要や要点を理解することができる。						○	
		S：日本語の存続について、グループ内で意見を伝え合うことができる。							○
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。								
Lesson 3 + Deepen Your Thoughts 1 + Pros and Cons 1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解の能力	L：自然保護とオランウータンに関する説明文を聞き、その概要と要点を理解することができる。						○	
	外国語表現の能力	R：自然保護とオランウータンに関する説明文を読み、その概要や要点を読み取ることができる。						○	
		S：「すべての大学生が、1年間の留学を義務づけられるべきである」という題でディスカッションを行い、自分の意見を述べることができる。							○
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。								
	W：積極的な自然保護の是非について、自分の意見を書くことができる。								○



科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学期	前	時数 (55分授業)	48	単元	Lesson 1 ~ Lesson 5	
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法	
	定期テスト	パフォーマンス テスト	課題					
Lesson 4	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)							
	外国語理解の能力							○
	外国語表現の能力							○
	言語や文化に関する知識・理解							○
Lesson 5	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)							
	外国語理解の能力							○
	外国語表現の能力							○
	言語や文化に関する知識・理解							○
Deepen Your Thoughts 2 + Pros and Cons 2	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)							
	外国語理解の能力							
	外国語表現の能力							○
	言語や文化に関する知識・理解							○
備考	授業中に随時リスニングテストおよび単語テストを行います。また、パフォーマンステストも行います。それぞれのテストの内容や評価基準の詳細は、授業の中でお知らせします。							

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学期	後	時数 (55分授業)	48	単元	Lesson 6 ～ Lesson 10		
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法		
							定期テスト 小テスト	パワーマンス テスト	課題
Lesson 6	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解の能力	L：ムペンバ効果に関する説明文を読み、その概要や要点を理解することができる。 R：ムペンバ効果に関する説明文を読み、その概要や要点を理解することができる。						○	
	外国語表現の能力	S： W：困難を乗り越えた経験について、書くことができる。						○	○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。						○	
Lesson 7	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解の能力	L：人間の知覚をめぐる幻想についての説明文を読み、その概要や要点を理解することができる。 R：人間の知覚をめぐる幻想についての説明文を読み、その概要や要点を理解することができる。						○	
	外国語表現の能力	S： W：本文から学んだことについて書くことができる。						○	○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。						○	
Lesson 8	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解の能力	L： R：「壁へ落書きをした少年」に関する物語文を読み、その概要や要点、主人公の心情の移り変わりを理解することができる。						○	
	外国語表現の能力	S： W：「壁への落書きは犯罪か」という題で、市長（想像上）にメールを書くことができる。						○	○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。						○	

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学期	後	時数 (55分授業)	48	単元	Lesson 6 ~ Lesson 10		
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法		
	定期テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	課題						
Deepen Your Thoughts! 4	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力	L:							
	外国語表現 の能力	R:							
		S:	「留学先のホストファミリーに別れの挨拶をする」という場面設定でプレゼンテーションをすることができる。						○
		W:							
言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。									
Lesson 9	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力	L:							
	外国語表現 の能力	R:	ドクターの「祈りの手」の秘話についての物語文を読み、その概要と要点、主人公の心情を理解することができる。						○
		S:	読んだ内容に関する自分の意見をディベート形式で伝えることができる。						○
		W:							
言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。									
Lesson 10	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークやグループワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力	L:							
	外国語表現 の能力	R:	「人生を支えた学校時代の思い出」に関する物語文を読み、その概要と要点、主人公の心情を理解することができる。						○
		S:	お世話になった先生に感謝の手紙を書くことができる。						○
		W:							
言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用について知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解することができる。									
備考	授業中に随時リスニングテストおよび単語テストを行います。また、パフォーマンステストとしてスピーキングテストを1回、ライティングテスト(課題)を4回行います。それぞれのテストの内容や評価基準の詳細は、授業の中でお知らせします。								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	単位数	2
教科書	数研出版「Revised POLESTAR English ExpressionⅡ」		副教材	数研出版「CLOVER 英文法・語法ランダム演習」 Z会「OVER ALL 英語総合問題集」	

CAN-DO リストに基づく学習到達目標とその評価規準・評価方法	
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	(評価方法) コミュニケーション活動への取り組みの観察
外国語表現 の能力	話すこと
	やり取り
	発表
	(評価方法) スピーキング活動への取り組みの観察
外国語理解 の能力	書くこと
	読むこと
	(評価方法)
	(評価方法)
言語や文化についての 知識・理解	(評価方法) 定期テスト・小テスト

科目	英語表現 II	学期	前	時数 (55分授業)	32	単元	Part 3 Lesson 1~ Lesson 7、 Part 4 Lesson 1~ Lesson 2
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)						
Part 3 Lesson 1	外国語理解 の能力	L:					定期テスト パフォーマンス
	外国語表現 の能力	R:					小テスト テスト
		S: first, second, ...などの表現を用いて、物事を順序立てて説明し、話すことができる。					
		W:					
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。						
Lesson 2	外国語理解 の能力	L:					定期テスト パフォーマンス
	外国語表現 の能力	R:					小テスト テスト
		S:					
		W: 「説明/定義」「分類」の支持文の展開パターンを用いて、物事を説明した英文を書くことができる。					
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。						
Lesson 3	外国語理解 の能力	L:					定期テスト パフォーマンス
	外国語表現 の能力	R:					小テスト テスト
		S:					
		W: one, some, others など、「列挙」に使われるシグナル・ワードを適切に用いて英文を書くことができる。					
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。						
Lesson 4	外国語理解 の能力	L:					定期テスト パフォーマンス
	外国語表現 の能力	R:					小テスト テスト
		S:					
		W: 「説明/定義」「分類」の支持文の展開パターンを用いて、物事を説明した英文を書くことができる。					
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。						

	の能力	W: like, alike, similar, the same など, 「共通点」を表す際に使われるシグナル・ワードや different, unlike, but, on the other hand など, 「相違点」を表す際に使われるシグナル・ワードを適切に用いて書くことができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○
Lesson 5	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
	外国語理解の能力	L: R:		
	外国語表現の能力	S: W: result in ~, lead to ~, that's why ~ など, 「結果」に使われるシグナル・ワードを用いてまとめた英文を書くことができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○
Lesson 6	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
	外国語理解の能力	L: R:		
	外国語表現の能力	S: W: first, then, last, finally など, 時間の順序を表すシグナル・ワードを効果的に用いてパラグラフを書くことができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○
Lesson 7	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
	外国語理解の能力	L: R:		
	外国語表現の能力	S: W: 「説明/定義・分類」, 「例示・列挙」, 「比較・対照」, 「原因・結果」, 「時間の順序」のシグナル・ワードをそれぞれ使い分けてパラグラフを書くことができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○
Part 4	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
Lesson 1	外国語理解の能力	L:		

の能力	R:			
外国語表現の能力	S: 自分の経験について、過去形や現在完了形を適宜使い分けて話すことができる。 W:			○
言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○		○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)				
外国語理解の能力	L:			
外国語表現の能力	R: S: 日本語の表現を, or (すなわち, つまり) などの表現を用い, 英語で言い換えて口頭で説明できる。 W: お正月などの日本特有のイベントについて, いつ始まっていつ終わるかなどをきちんと説明した文章を書くことができる。	○		○
言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○		○
備考	パフォーマンステストとしてスピーキングまたはライティングテストを1回行います。テストの内容や評価基準の詳細は、授業の中でお知らせします。			

科目	英語表現Ⅱ	学期	後	時数 (55分授業)	32	単元	Part 4 Lesson 3~ Lesson 7 Part 5 Lesson 1~ Lesson 4	評価方法	課題
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)							定期テスト 小テスト	パフォーマンス テスト
Part 4 Lesson 3	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力	L:							
	外国語表現 の能力	R:							
		S: 仮定法過去の表現を効果的に用いて説明しながら話すことができる。							○
		W:							
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。							○	○
Lesson 4	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力	L:							
	外国語表現 の能力	R:							
		S: 長所や短所を挙げた上で、自分の意見や主張を相手に伝えながら話すことができる。							○
		W: 自分の立場を明確に示した上で、どうすべきなのかを英語で主張した文章を書くことができる。							○
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。							○	○
Lesson 5	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力	L:							
	外国語表現 の能力	R:							
		S: moreover などのシグナル・ワードを用いて、いくつかの理由・事柄を列挙して口頭で論じることができる。							○
		W: 理由を述べた後で、therefore などのシグナル・ワードを用いて、自分なりの結論を述べた文章を書くことができる。							○
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。							○	○
Lesson 6	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
	言語や文化に関する知識・理解：英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。							○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								



	外国語理解の能力	L: R:			
	外国語表現の能力	S: I'm wondering whether you would be kind enough to ...などのでない英語表現を用いて、相手に口頭で依頼することができる。 W: Dear ..., で始まり, Sincerely yours, などで結ぶ, 手紙特有の表現をきちんと用いて手紙を書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Lesson 7	外国語理解の能力	L: R:			
	外国語表現の能力	S: increase や decrease などの表現を用いて、グラフや表の数値の推移を説明した英文を書くことができる。 W: increase や decrease などの表現を用いて、グラフや表の数値の推移を説明した英文を書くことができる。	○		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Part 5 Lesson 1	外国語理解の能力	L: R:			
	外国語表現の能力	S: スピーチにおいて、自分の意見を述べる上で必要となる表現を駆使して、最後に結論を述べたり、その主張をまとめたりすることができる。 W:			○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Lesson 2	外国語理解の能力	L: R:			
	外国語表現の能力	S: プレゼンテーションにおいて、非言語コミュニケーションにも留意して発表することができる。 W: プレゼンテーションに向けて、そのテーマ・トピックに応じて、情報や意見、提案などをわかりやすく説明した原稿を書くことができる。	○		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			

コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)				
Lesson 3	外国語理解の能力	L: R:		
	外国語表現の能力	S:ディスカッションにおいて、あいさつ・テーマの明示の後、互いの意見を尊重しながら個々の意見を述べ、最後に参加者の発言内容をまとめることができる。 W:		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)				
Lesson 4	外国語理解の能力	L: R:		
	外国語表現の能力	S:ダイベートにおいて、開会の言葉から始まり、肯定側と否定側がそれぞれの立場に即して主張を述べ合い、最後に司会者が審査員に判定結果を発表してもらい、閉会するまでのことができる。 W:		○
	言語や文化に関する知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○
備考	パフォーマンステストとしてスピーキングまたはライティングテストを1回行います。テストの内容や評価基準の詳細は、授業の中でお知らせします。			

科目	Reading Skills	学期	前	時数 (55分授業)	32	単元	Cutting Edge 2020 -Blue-			
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法			
							定期テスト	授業内活動	課題	
Chapter 1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解の能力	L：英文を読み、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。							○	
	外国語表現の能力	R：ゴニア虫に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。						○		
		S：世界の疾病を知り、そのことについて意見交換を行う。							○	
		W：読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。						○		○
言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。										
Chapter 2	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解の能力	L：英文を読み、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。							○	
	外国語表現の能力	R：家族の在り方に関する物語を読み、その概要や要点、話の展開、登場人物の心情を理解することができる。						○		
		S：自分の家族、世界の家族について話題にして意見交換する。							○	
		W：読んだ内容の要約と感想をまとめた英文で書くことができる。								○
言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。										
Chapter 3	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解の能力	L：英文を読み、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。							○	
	外国語表現の能力	R：大学研究の新聞記事を読み、その概要や要点、話の展開や主人公の心情を理解することができる。						○		
		S：人体や動物の研究について話題にして意見交換する。							○	
		W：読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。								○
言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。										
Chapter 4	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解の能力	L：英文を読み、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。							○	
	外国語表現の能力	R：液体燃料の説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。						○		
		S：燃料資源について考え、意見交換する。							○	
										○

	の能力	W: 読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Chapter 5	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
		R: 社会の上下関係に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: 人間関係について考え、意見交換する。		○	
		W: 読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Chapter 6	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
		R: コーラに関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: 小売業、消費者心理について考え、意見交換する。		○	
		W: 読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Chapter 7	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
		R: 国際語としての英語に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: 言語について考え、意見交換する。		○	
		W: 読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Chapter 8	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
		R: 睡眠に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: 睡眠について考え、意見交換する。		○	
		W: 読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○

Chapter 9	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。		○
	外国語表現の能力	R：口論と真実に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：コミュニケーションについて考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
Chapter 10	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。		○
	外国語表現の能力	R：オーガニックに関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：オーガニック製品について考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。		○
Chapter 11	外国語表現の能力	R：自動運転技術に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：自動運転技術について考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。		○
	外国語表現の能力	R：AIと仕事に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：AIと仕事について考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
Chapter 12	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。		○
	外国語表現の能力	R：AIと仕事に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：AIと仕事について考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
Chapter 13	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。		○

Chapter 14	の能力	R：動物行動学に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○	
	外国語表現の能力	S：動物行動学について考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
Chapter 15	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を会話聞き理解することができる。		○
	外国語表現の能力	R：災害と温暖化に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：災害と環境問題について考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を会話聞き理解することができる。 R：ビッグデータに関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：ビッグデータについて考え、意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
Chapter 16	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を会話聞き理解することができる。 R：事実の伝わり方を説明した英文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○
	外国語表現の能力	S：本文に関わる出来事を考え、その意見交換する。 W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を会話聞き理解することができる。 R：宇宙に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S：宇宙のあるトピックについて考え、その意見交換する。		○
Chapter 17	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を会話聞き理解することができる。 R：宇宙に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○	○
	外国語表現の能力	S：宇宙のあるトピックについて考え、その意見交換する。		○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○

の能力	W: 読んだ内容の要約と自分の意見をまとめた英文で書くことができる。				○
	言語や文化に関する知識・理解: 言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○		○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度: ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)					
Chapter 18	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。			○
	外国語表現の能力	R: 確証バイアスを説明した英文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
		S: 確証バイアスについて考え、意見交換する。			○
		W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解: 言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○		○
備考	本文の学習後、スピーキング活動を行います。				

科目	Reading Skills	学期	後	時数 (55分授業)	32	単元	SKYWARD SKY course		
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法 定期テスト 小テスト パフォーマンス テスト 課題		
Unit 1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。								
外国語表現の能力	R：原子力発電に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。								
外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。								
言語や文化に関する知識・理解	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。								
Unit 2	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。								
外国語表現の能力	R：俗語に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。								
外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。								
言語や文化に関する知識・理解	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。								
Unit 3	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。								
外国語表現の能力	R：教育に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。								
外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。								
言語や文化に関する知識・理解	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。								
Unit 4	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)								
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。								
外国語表現の能力	R：国民性に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。								
外国語表現の能力	S：								



	の能力	W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Unit 5	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容を理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	R: 衣服が与える影響に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Unit 6	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容を理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	R: 環境問題に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Unit 7	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容を理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	R: 結婚願に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			
Unit 8	外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容を理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	R: 蜂の研究に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
	外国語表現の能力	S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
	言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)			

コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
Unit 9	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。 R：視覚に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○
	外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○
	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)		
Unit 10	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。 R：伝記を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○
	外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○
	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)		
Unit 11	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。 R：DNA鑑定に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○
	外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○
	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)		
Unit 12	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。 R：インターネットに関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○
	外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○
	言語や文化に関する知識・理解：言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)		
Unit 13	外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。	○

の能力	R: 近接学に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。	○	
外国語表現の能力	S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。		○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		○
Unit 14			
外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。	○	
外国語表現の能力	R: いじめに関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
Unit 15			
外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。	○	
外国語表現の能力	R: 余暇に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
Unit 16			
外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。	○○	
外国語表現の能力	R: 光害に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S: W: 読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。	○	○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法: 活動の観察)		
Unit 17			
外国語理解の能力	L: 英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容の会話を聞き理解することができる。	○	
外国語表現の能力	R: 電子書籍に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。 S:	○	

の能力	W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
外国語表現の能力	R：食品添加物に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
外国語表現の能力	R：食糧問題に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワーク・グループワークにおいてコミュニケーションを図ろうとしている。(評価方法：活動の観察)			
外国語理解の能力	L：英文を聞き、本文の内容理解を深める。関連する内容を聞き理解することができる。		○	
外国語表現の能力	R：移民に関する説明文を読み、その概要や要点、話の展開を理解することができる。		○	
外国語表現の能力	S： W：読んだ内容の要約とそれについての自分の意見をまとめた英文で書くことができる。			○
言語や文化に関する知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。		○	○
備考	表現活動としてライティング課題を単元ごとに課します。内容や評価基準の詳細は、授業の中でお知らせします。			

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	情報・社会と情報	学年	第3学年	教科書	実教出版「高校社会と情報 新訂版」
		単位数	2単位	副教材	実教出版 「30時間でマスター Word&Excel 2013」

学習目標  
 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を学習し、情報機器や情報通信ネットワークなどを活用する知識や技能を習得することが目標である。また、情報を収集、処理、表現するとともに効果的に発信する能力を身に付けることが目標である。

学習方法  
 ○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と協力しながら制作する活動も行います。  
 ○ 授業の課題は、サーバーやクラウド上に提出をします。  
 ○ レポートによる課題を定期的に提出してもらいます。計画的に取り組みましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
b	思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため情に、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	
c	技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	
d	知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	情報コミュニケーションと安全対策	10	1章 情報社会	1 情報と情報社会 2 社会の変化と個人の責任 3 情報社会の問題 4 個人情報とその保護 5 メディアとその特徴 6 メディアリテラシー	○	○	○	○	a: 情報社会の諸問題についてWebを利用して調べようとしている。 b: Webページの信憑性チェックリストの記入内容は適切に表現している。 c: 適切な個人情報の保護の方法について発表できる。 d: 情報化の光と影の部分について理解できる。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み
			2章 コミュニケーション	1 コミュニケーション 2 電子メールの利用 3 ネットワーク 4 共通の取り決め 5 インターネットの仕組み 6 Webページの閲覧とメールの仕組み 7 インターネットを利用したサービス 8 情報の共有化と合意形成	○	○	○	○	a: 進んでコンピュータやネットワークについて調べようとしている。 b: CCとBCCを適切に使い分けができる。 c: フォルダの作成、ファイルの移動ができる。 d: 代表的な拡張子が理解できる。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み
			3章 情報安全	1 個人による安全対策 2 組織による安全対策 3 安全のための情報技術 4 暗号化 5 法規による安全対策 6 知的財産権の概要と産業財産権 7 著作権 8 著作物の利用	○	○	○	○	a: 情報セキュリティに対して、関心を持っている。 b: 著作権などの侵害事例について、どの権利を侵害しているかを適切に判断できる。 c: 適切なパスワードを設定できる。 d: パスワードの重要性などを理解できる。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み
後期	情報のデジタル化と問題解決・情報発信	16	4章 デジタル化	1 デジタル情報の特徴 2 静止画像の扱い 3 数値や文字の表し方 4 音のデジタル化 5 色のデジタル表現 6 画像のデジタル化 7 圧縮の種類 8 圧縮の仕組み 9 ささまざまな計算	○	○	○	○	a: 文字コードを2進数や16進数表示できるソフトウェアを使い、意欲的に実習しようとしている。 b: 画像処理ソフトでフィルタなどの効果を使い、創作的な作品を表現できる。 c: 2進数、10進数、16進数の相互変換の計算において、電卓ソフトを操作できる。 d: アナログとデジタルの概念、情報量と単位変換の計算を理解できる。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み
			5章 問題解決	1 問題を解決するには 2 情報の収集 3 情報の整理と管理 4 分析のための工夫 5 関数と統計 6 表とグラフの活用 7 分析の実際 8 問題解決の実際 9 プレゼンテーションの方法 10 Webページによる情報発信	○	○	○	○	a: 計画や情報収集を積極的にしている。 b: 問題解決の手順、問題の内容を理解し、明確化している。 c: 問題解決にあたって適切な情報手段を使うことができる。 d: 問題解決の手順と解決するための工夫を理解できる。	・レポート ・確認テスト ・授業への取り組み
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	音楽：ソルフェージュ 音楽理論	学年	第3学年	教科書	
		単位数	4単位	副教材	自主作成教材

学習目標  
音楽に関する基礎的な知識及び理論諸要素を正しく捉え、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を、演奏・鑑賞とともに身に付ける。

学習方法  
○授業中の課題に積極的に取り組む。また、他の生徒の実技演習を注意深く聴き参考にする。  
○授業中に実施した課題は、他の生徒に割り当てられたものも含め、すべて復習する。  
○課題を単なる練習としてとらえず、常に実際の演奏と結びつけて学習に取り組む。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	音楽への関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音楽文化を尊重する態度を身に付けるとともに、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わっている。
b	音楽表現の創意工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽の良さや美しさを深く感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をしている。
c	音楽表現の技能	自己のイメージを持ち、個性豊かに充実した創造的な表現をするための技能を身に付けている。
d	鑑賞の能力	感性を働かせて、多様な音楽(芸術)を深く理解し、その価値や意味を創造的に味わい、演奏表現についての意見を持っている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
通 年	(1)楽典	24	譜表	音部記号・スコア	○	○	○	a:楽譜や音楽理論に強い関心を持ち、積極的に課題に取り組もうとしている。 b:音楽の諸要素の理解し、自らの音楽体験と結びつけることにより、更に楽曲の理解を深める。 c:楽譜や音楽理論の知識を実際の演奏に生かそうとしている。	・授業への取り組み ・問題演習 ・課題 ・筆記テスト	
			音名	日・独・英語音名	○	○	○			
			音程	単・複音程	○	○	○			
			音階	様々な音階	○	○	○			
			和音	三和音・四和音	○	○	○			
			移調	移調・移調楽器	○	○	○			
			調判定	様々な調	○	○	○			
			楽語	速度・発想記号	○	○	○			
	(2)楽曲の形式	4	形式	様々な形式	○	○	○	○	a:楽曲の形式に強い関心を持ち、積極的に課題に取り組もうとしている。 b:形式や成立した時代背景を知り、自らの音楽体験と結びつけることにより、更に楽曲の理解を深める。 c:楽曲の形式や構成についての知識を実際の演奏に生かそうとしている。 d:楽曲の形式や構成を理解し、その意図や良さを感じ取りながら味わうことができる。	
	(1)視唱	20	視唱	コールユーブンゲン	○	○	○	a:難易度の高い課題にも集中して積極的に取り組み、予習も十分に行っている。 b:音楽の諸要素を考慮し、実際の演奏に即した表現を常に心がけている。 c:無理のない発声で、課題となる楽曲の良さを表現できる歌唱力を持っている。	・授業への取り組み ・課題 ・実技テスト	
			初見視唱	旋律 ト・ヘ・ハ音記号 いろいろな調	○	○	○			
	(2)視奏	20	初見視奏	ピアノ演奏 楽曲の構成 テンポ設定 強弱の読み取り リズム打ち リズムアンサンブル 平易なピアノ曲	○	○	○	a:課題にも集中して積極的に取り組んでいる。 b:音楽の諸要素を考慮し、実際の演奏に即した表現を常に心がけている。 c:課題に十分応えるだけの技術が身に付いている。または、自身の能力にあわせて課題を再構成する力がある。	・授業への取り組み ・課題 ・実技テスト	
(3)聴音	60	旋律	単旋律 二声・三声	○	○	a:難易度の高い課題や様々な形式の課題にも、その必要性や有機的なつながりを理解し、集中して積極的に取り組んでいる。 c:視唱の能力や音楽理論の知識を総合的に活用して、的確な楽譜を書くことを常に心がけている。	・授業への取り組み ・課題 ・実技テスト			
		和音	三和音・和声	○	○					
		リズム	短音のリズム 旋律のリズム	○	○					
合計時数(55分授業)		128								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	美術・美術概論	学年	第3学年	教科書	
		単位数	3単位	副教材	自高作成教材

**学習目標**  
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化への理解を深め、豊かな情操を養う。

**学習方法**  
○世界の美術文化の歴史を理解し、幅広い視野に基づいた創造的表現により、社会と美術の繋がりやその役割についての意識を高め、専門技術の習得を目指し、感性豊かな造形活動と作品づくりに専念する。  
○授業は美術や建築など専門科目を有する大学の受験に対応する内容を精選し、自主的な活動を中心とする。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	b	a	b
a	美術への関心・意欲・態度		美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	
b	発想や構想の能力		感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	
c	創造的な技能		創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	
d	鑑賞の能力		美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、その良さや美しさを創造的に味わっている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	オリエンテーション 表現・鑑賞	24	デザイン (色彩構成Ⅰ) (色彩構成Ⅱ)	・色彩全般の専門的知識と技法 ・デザイン力と構成力の基礎と応用について学ぶ	○	○	○	○	a作品の表現方法を工夫し、最後まで制作に向けて努力できる。 b形・色・線の三大要素を理解し、美術的な構成力を身に付けようと工夫と努力が見られる。 c色彩への総合的な知識と表現技法への理解に基づいた、構成的表現ができる能力を身に付けている。 d進路や受験にも対応できる総合的な判断と作品づくりができる。	・授業への取り組み、 ・活動観察 ・アイデアスケッチ ・提出作品 ・レポート課題 ・他生徒との対話 ・鑑賞
			24	絵画	・好きな絵画作品を一つ選択し、模写する ・素材研究として油画作品や写真のデクスタチャを研究する	○	○	○	○	
後期	表現・鑑賞	24	デザイン (建築模型の制作)	・二次元から三次元の物を制作できる応用力を習得する	○	○	○	○	ab「理想の家」をテーマにどのようなコンセプトの家にするのか、また周りのランドスケープデザインまで考えることができる能力を身に付けている。 c素材の特性を理解し、独自の工夫と美しく立体構造物を制作できる能力を身に付けている。 d作品のコンセプトを端的に発表し、お互いの作品を鑑賞し、意見を出し合い作品鑑賞を味わっている。	・授業への取り組み、 ・活動観察 ・アイデアスケッチ ・提出作品 ・レポート課題 ・他生徒との対話 ・鑑賞
			24	美術史 鑑賞	・美術史(西洋・日本)を通して、社会と美術について深く考える。	○	○	○	○	
合計時数(55分授業)		96								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	美術・素描	学年	第3学年	教科書	
		単位数	3単位	副教材	自校作成教材

学習目標	美術Ⅰ・美術Ⅱの内容をベースに、美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化への理解を深め、豊かな情操を養う。	
学習方法	○身近なモチーフのデッサンを中心に、ものの観察力と描写力を養い、一層の創造活動の技術的な伸長を目指す。 ○生徒ひとり一人の個性を育むための具体的な教育プログラムを実践し、将来の進路を考えた美術全般の応用力を養う。	
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a 美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
	b 発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
	c 創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。
	d 鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、その良さや美しさを創造的に味わっている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	オリエンテーション 表現・鑑賞	24	絵画 (鉛筆による デッサン)	・デッサンの基礎を学ぶ ①② (①石膏首像+②自画像)	○	○	○	○	a形や物体への観察眼を身に付けようと努力している。 bc筆のモノクロにおける描写的表現を身に付けている。 石膏デッサンで学んだものの見方や技法を人物(自画像)描画表現に応用できる。 ad自らの作品の完成に向けて忍耐強く制作画面に向かうことができる。	・授業への取り組み ・提出作品 ・レポート課題
			彫刻 (模刻)	・立体を模刻 ・質感表現技法の習得	○	○	○	○	a形体に対して、空間意識を持って観察眼を身に付けようと努力している。 b作品の完成に向けて忍耐強く制作に向かうことができる。 c再現描写、模刻ができる技術を習得している。 d歴史的に残る多くの作品の良さを理解できる。	
後期	表現・鑑賞	24	自由研究課題 (デッサン研究、素材研究、写真映像小論文等)	・いくつかの課題の中から選択して取り組み、表現と技法について独自の発見を促し、専門的知識の向上と表現力の幅を広げる	○	○	○	○	a描画素材の違いと特性を理解し、幅広い表現技法が身に付いている。 bc課題モチーフへの理解・技法・表現について自らの手法を工夫し、納得できる作品づくりを目指している。 d社会と美術の関連について学び、美術の役割について考察し、作品として表現できる。	・授業への取り組み ・提出作品 ・レポート課題
			絵画 (構成デッサン+デザイン) 鑑賞(小論文)	美術の総合力(まとめ)	○	○	○	○	ab身近なモチーフを目視せずに、想定デッサンできる観察眼が身に付いている。 bあらゆるモチーフをどのように組み合わせ、作品化していくか、美術を専門とした職業や学問についての応用力を身に付けようと努力している。 bc視覚的表現と言語表現の違いを学び、それぞれの長所を活かした自己の表現方法を身に付けている。 d社会における美術の役割について多くの作品からエッセンスを読み取り発想に結び付けることができる。	
合計時数(55分授業)		96								



令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	家庭・フードデザイン	学年	第3学年	教科書	実教出版「フードデザイン 新訂版」
		単位数	2単位	副教材	実教出版「生活学Navi 資料+成分表2020」

**学習目標**  
 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身に付ける。

**学習方法**  
 ○授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と意見交換したり、共同で考える活動を行います。  
 ○授業においてはプリントを利用します。  
 ○調理実習ではレポートを作成し、実習結果をもとに考察したり、実習について自身で計画し、実践します。  
 ○家庭学習における課題を提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	b	a	b
a	関心・意欲・態度	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネート等に関心を持ち、食生活を総合的にデザインする意欲と実践的な態度を身に付けている。	a	関心・意欲・態度
b	思考・判断・表現	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネート等に課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	b	思考・判断・表現
c	技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネート等に関する技術を身に付けている。	c	技能
d	知識・理解	栄養、食品、調理、テーブルコーディネート等に関する知識を身に付けている。	d	知識・理解

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	食生活と健康	2	食事の意義と役割 食をとりまく現状	・食事の意義と役割 ・栄養摂取の現状 ・現代の食生活 ・食生活を取り巻く状況との課題	○	○			a:食事の意義と役割や食生活の現状に関心を持ち、学習に取り組もうとしている。 b:現代の食生活の課題を見出し、その改善を目指して思考を深め、適切に判断し、意見交換をすることができる。	・プリント ・取り組み ・発表
	栄養素のはたらきと食事計画	5	からだのしくみとはたらき 栄養素のはたらき	・栄養素の役割 ・五大栄養素	○	○		○	a:体内における栄養素のはたらきについて関心を持ち、学習に取り組もうとしている。 b:栄養素の効率的な摂取方法について思考を深め、適切に判断し、発表することができる。 d:体内における栄養素のはたらきや、栄養素の効率的な摂取方法について理解している。	・レポート ・発表 ・小テスト
	食品の特徴・表示・安全	4	食品の種類と性質 食品の生産と流通	・食品の種類と性質 ・食品の生産と流通	○	○		○	a:様々な食品に関心を持ち、積極的に様々な食品の食べ方を学んでいる。 b:食品の生産や流通に関する課題について思考を深め、生活に活かす方法について考えている。 d:食品の種類と性質や特徴を生かした食べ方について理解している。	・プリント ・取り組み ・小テスト
	調理の基本	5	調理とおいしさ 調理操作 調味操作	・調理の目的とおいしさ ・非加熱操作 ・調味操作	○	○	○	○	a:調理の基本について関心を持ち、積極的に学習に取り組んでいる。 b:科学的に栄養面や美味しさを高める調理操作について思考を深めている。 c:科学的に栄養面や美味しさを高める調理操作を実践することができる。 d:調理の基本について理解している。	・プリント ・取り組み ・小テスト
	実験・実習	10	食品実験 調理実習	・食品実験 ・調理実習		○	○		b:食品実験や調理実習の結果について考察し、思考を深めている。 c:食品実験や調理実習を適切に行うことができる。	・取り組み ・レポート
	フードデザイン実習	2	献立作成	・日常食の献立を考える際の留意点 ・日常食の献立作成		○	○		b:日常食の献立を考える際の留意点に配慮しながら、献立について検討している。 c:日常食の献立を適切に作成することができる。	・取り組み ・作品
	料理様式とテーブルコーディネート	4	料理様式とテーブルコーディネート	・日本料理の様式と献立 ・和風のテーブルコーディネート	○	○	○	○	a:日本料理の様式と献立について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:和風のテーブルコーディネートについて思考を深めている。 c:和風のテーブルコーディネートに使用する小物を製作することができる。 d:日本料理の様式と献立について理解している。	・プリント ・取り組み ・作品 ・小テスト
後期	料理様式とテーブルコーディネート	6	料理様式とテーブルコーディネート	・西洋料理、中国料理の様式と献立 ・洋風のテーブルコーディネート ・室内のコーディネート	○	○	○	○	a:西洋料理、中国料理の様式と献立について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:洋風のテーブルコーディネートについて思考を深めている。 c:洋風のテーブルコーディネートに使用する小物を製作し、活用することができる。 d:西洋料理、中国料理について理解している。	・プリント ・取り組み ・作品 ・小テスト
	調理の基本	8	調理操作	・加熱操作 ・加熱調理器具	○	○	○	○	a:調理の基本について関心を持ち、積極的に学習に取り組んでいる。 b:科学的に栄養面や美味しさを高める調理操作について思考を深めている。 c:科学的に栄養面や美味しさを高める調理操作を実践することができる。 d:調理の基本について理解している。	・プリント ・取り組み ・小テスト
	フードデザイン実習	4	献立作成	・応用所・行事食 ・テーマ設定と調理実習		○	○		b:応用所・行事食の献立について検討している。 c:応用所・行事食のテーマ設定、献立作成と調理や行事食の調理を適切に行うことができる。	・取り組み ・レポート
	実験・実習	10	食品実験 調理実習	・食品実験 ・調理実習		○	○		b:食品実験や調理実習の結果について考察し、思考を深めている。 c:食品実験や調理実習を適切に行うことができる。	・取り組み ・レポート
	食育	4	食育の意義と推進活動	・食育基本法 ・家庭や地域における食育推進活動	○	○	○		a:食育について関心を持ち、積極的に食育に取り組もうとしている。 b:食育について思考を深め、実践例について発表することができる。 c:食育の実践的活動を工夫して行うことができた。	・取り組み ・作品 ・発表
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	総合的な探究の時間(SL)	学年	第3学年	教科書	
		単位数	1単位	副教材	自校作成教材

**学習目標**  
 自らの興味関心に基づき、テーマを探し出す力を養います。また、テーマに基づいて目標を設定し、学習を進める方法を学びます。さらに、学習の成果をレポート・発表として表現する力、自己の生き方・在り方を考えることができる力を身に付けます。

**学習方法**  
 ○講演を聞いたり、大学研究を行ったりすることで、でグローバル社会の自己の生き方・在り方を考えます。  
 ○課題研究を行うことで、自らの興味関心に基づいたテーマを探し出します。  
 ○以上の2つから学習を進める方法を学び、その成果を発表することにより、他者に伝えることや、他者への理解を深めましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	知識・技能	探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、グローバル社会に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。
b	思考・判断・表現	諸問題と自己との関わりから問いを見出し、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	
c	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前期集中	総合的な探究の時間	2	自己探求	ガイダンス(情報収集の方法)	○			a:探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、グローバル社会に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 b:諸問題と自己との関わりから問いを見出し、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 c:探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。	授業への取り組み ワークシート
		8		キャリアサポート			○		
		6		講演会 自己啓発 グローバル	○	○			
		16	課題研究	課題研究	○	○			
	発表				○				
合計時数(55分授業)		32							